

裾野市

子ども・子育て支援に関するニーズ調査

調査結果報告書

令和6年9月

裾野市

I 調査の概要

1 調査の目的

令和2年3月に策定した「第2期裾野市子ども・子育て支援事業計画」の見直しにあたり、市民の教育・保育・子育て支援に係る事業の“現在の利用状況”や“今後の利用希望”を把握し、「第3期裾野市子ども・子育て支援事業計画」で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の“量の見込み”を算出する基礎資料とすることを目的に実施しました。

2 調査の設計

- (1) 調査地域 裾野市全域
- (2) 調査対象 ① 就学前児童：市内に在住の就学前の子どものいる家庭
② 小学生：市内に在住の小中学生の子どものいる家庭
- (3) 標本数 ① 就学前児童：1,000人
② 小学生：1,000人
- (4) 調査方法 郵送配布一郵送回収
- (5) 調査期間 令和6年6月5日～令和6年6月24日

3 回収結果

	配布・発送数	有効回収数	有効回収率
就学前児童	1,000人	610人	61.0%
小学生	1,000人	571人	57.1%

※有効回収数とは、回収数のうち、無記入や拒否などの無効票数を除いた数

4 調査回答者の属性

(1) 調査回答者

項目		合計	母親	父親	その他	無回答
就学前児童	回答者数 (人)	610	524	83	0	3
	構成比 (%)	100.0	85.9	13.6	0.0	0.5
小学生	回答者数 (人)	571	498	72	0	1
	構成比 (%)	100.0	87.2	12.6	0.0	0.2

(2) 調査対象の子どもの年齢 ※歳児・学年は、令和6年4月1日時点

① 就学前児童

項目		合計	令和6年 4月以降生まれ	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	無回答
就学前児童	回答者数 (人)	610	8	99	83	116	100	91	104	9
	構成比 (%)	100.0	1.3	16.2	13.6	19.0	16.4	14.9	17.0	1.5

② 小学生

項目		合計	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	無回答
小学生	回答者数 (人)	571	85	96	88	101	97	87	17
	構成比 (%)	100.0	14.9	16.8	15.4	17.7	17.0	15.2	3.0

5 報告書の見方

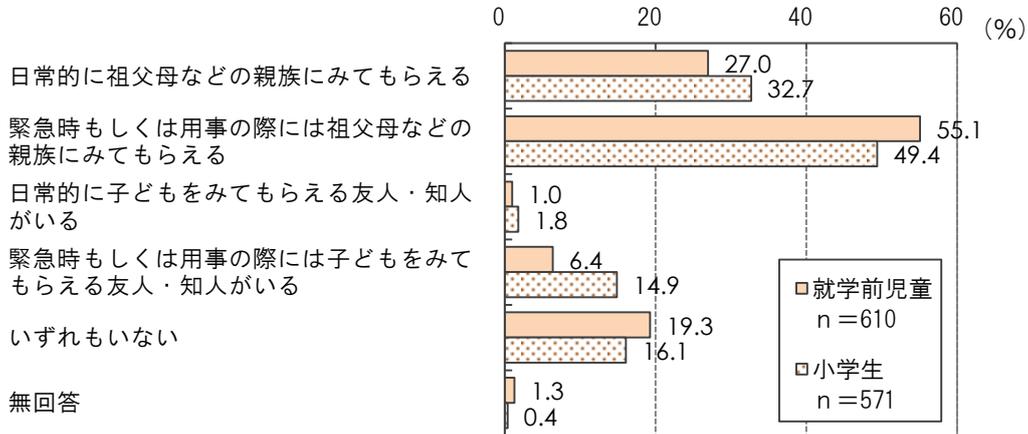
- (1) 回答率 (%) は、その質問の回答者数を基数として算出し、小数点以下第2位を四捨五入しています。したがって、比率の数値の合計が 100.0%にならない場合があります。
- (2) 回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出しています。したがって、複数回答可の設問は全ての比率を合計すると 100.0%を超える場合があります。
- (3) グラフ中の「n (Number of caseの略)」は基数で、その質問に回答すべき人数を表しています。
- (4) 前回調査結果 (平成 30 年度) との比較は、5.0 ポイント以上差異がある項目についてふられています。
- (5) グラフ・本文のスペースの都合上、各項目・選択肢を省略して表示している場合があります。

Ⅱ 調査結果（抜粋）

◎子どもの育ちをめぐる環境について

（１）日頃、子どもをみてもらえる人について（複数回答可）

【就学前：問10、小学生：問10】

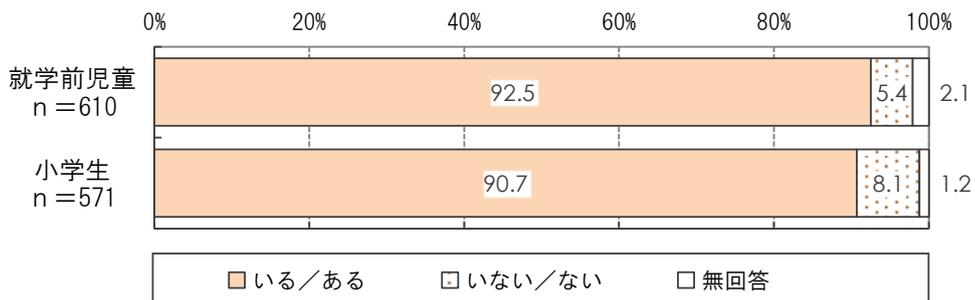


日頃、子どもをみてもらえる人については、就学前児童において「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる」が55.1%と最も多く、次いで「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」が27.0%、「いずれもない」が19.3%などとなっています。

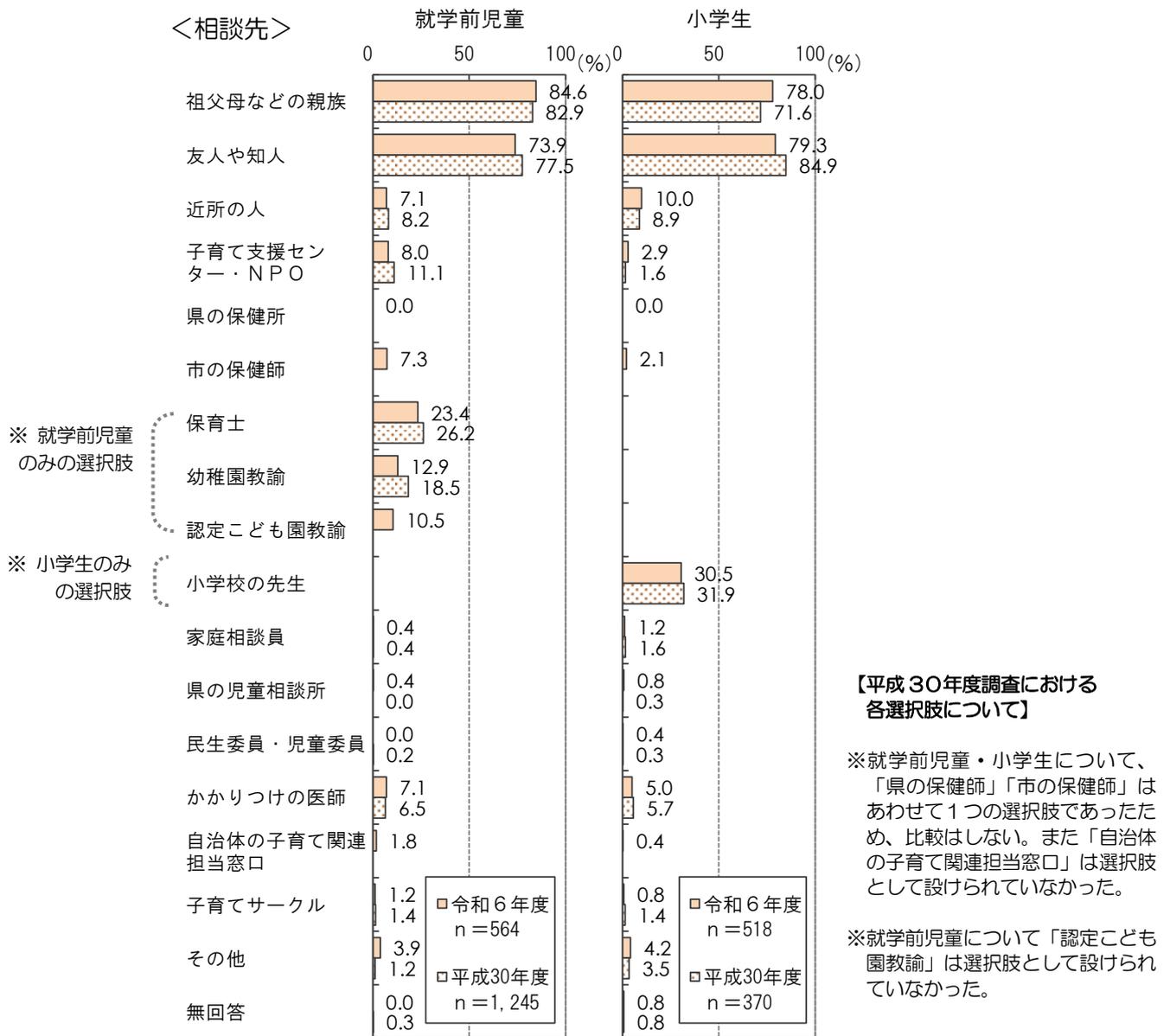
小学生においても「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる」が49.4%と最も多く、次いで「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」が32.7%、「いずれもない」が16.1%などとなっています。

（２）子育てについて気軽に相談できる人・場所の有無（単数回答）及びその相談先（複数回答可）

【就学前：問11・問11-1、小学生：問11・問11-1】



子育てについて気軽に相談できる人・場所の有無については、就学前児童において「いる／ある」が92.5%を占めています。小学生においても「いる／ある」が90.7%を占めています。

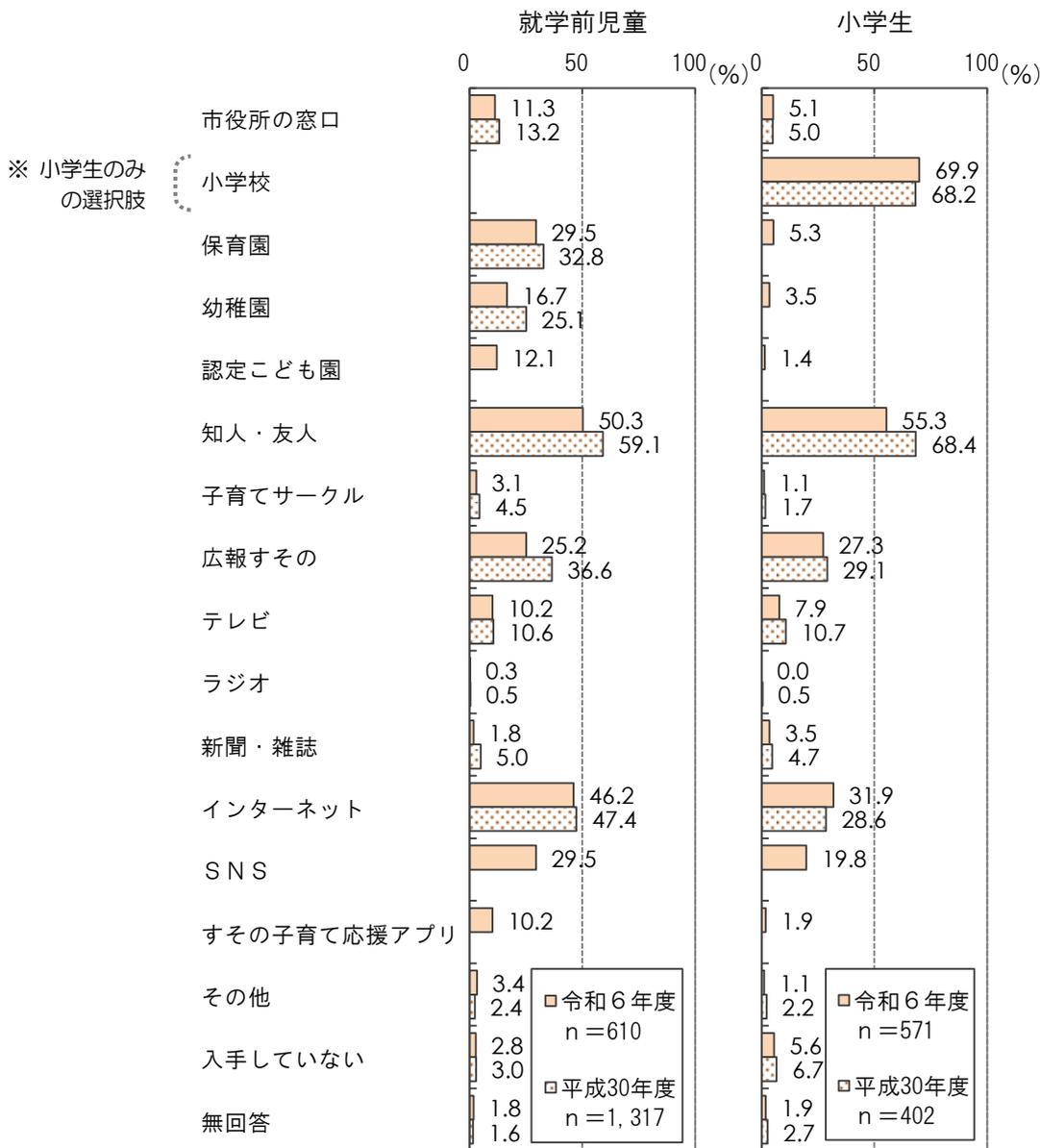


相談先については、就学前児童において「祖父母などの親族」が84.6%と最も多く、次いで「友人や知人」が73.9%、「保育士」が23.4%などとなっています。小学生においては「友人や知人」が79.3%と最も多く、次いで「祖父母などの親族」が78.0%、「小学校の先生」が30.5%などとなっています。

平成30年度調査と比較すると、小学生において「祖父母などの親族」が6.4ポイント増加し、「友人や知人」が5.6ポイント減少しています。

(3) 子育てに関する支援情報の入手先（複数回答可）

【就学前：問12、小学生：問12】



【平成30年度調査における各選択肢について】

※就学前児童・小学生について、ともに「SNS」「すその子育て応援アプリ」は選択肢として設けられていなかった。

※就学前児童について、「認定こども園」は選択肢として設けられていなかった。

※小学生について、「保育園」「幼稚園」「認定こども園」は選択肢として設けられていなかった。

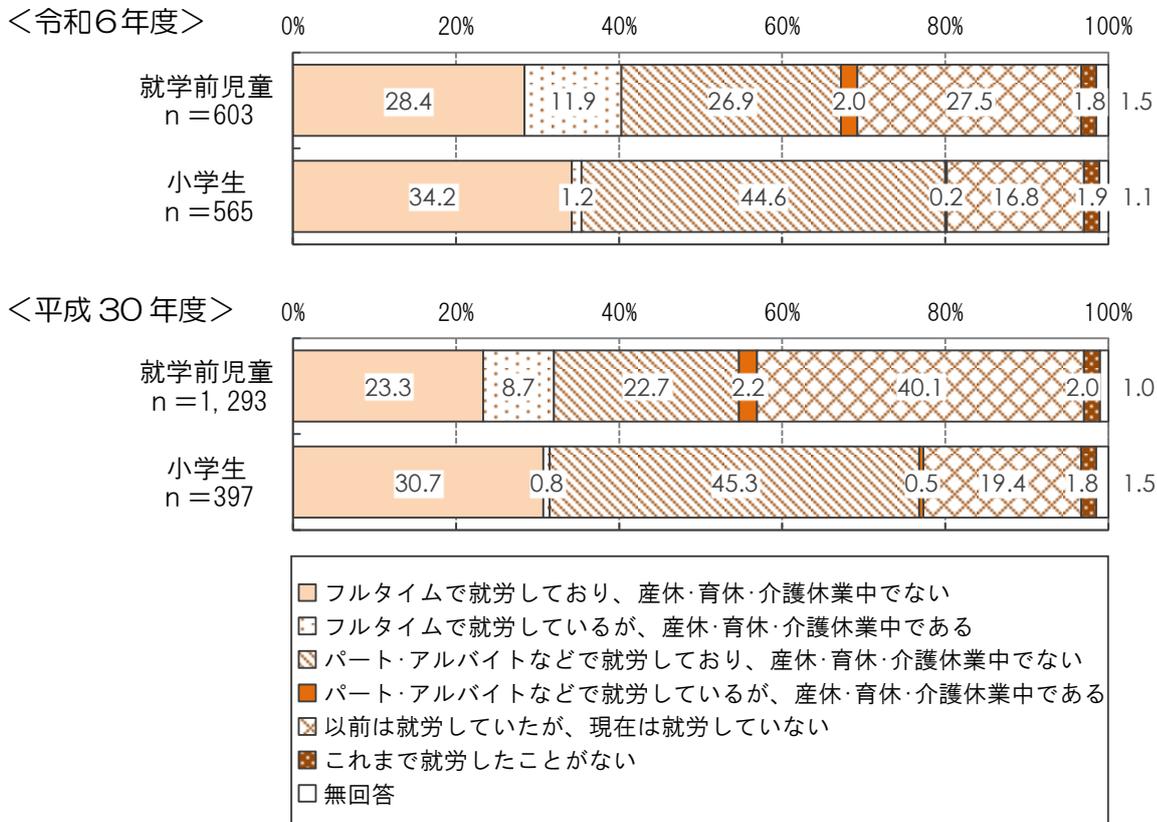
子育てに関する支援情報の入手先については、就学前児童において「知人・友人」が50.3%と最も多く、次いで「インターネット」が46.2%、「保育園」「SNS」がともに29.5%などとなっています。小学生においては「小学校」が69.9%と最も多く、次いで「知人・友人」が55.3%、「インターネット」が31.9%などとなっています。

平成30年度調査と比較すると、就学前児童において「幼稚園」「知人・友人」「広報すその」が5.0ポイント以上減少しています。小学生においては「知人・友人」が13.1ポイント減少しています。

◎保護者の就労状況について

(1) 母親の就労状況（単数回答）

【就学前：問13（1）、小学生：問13（1）】



母親の就労状況については、就学前児童において「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中でない」が28.4%と最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が27.5%、「パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中でない」が26.9%などとなっています。小学生においては「パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中でない」が44.6%と最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中でない」が34.2%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が16.8%などとなっています。

平成30年度調査と比較すると、就学前児童において「以前は就労していたが、現在は就労していない」が12.6ポイント減少しています。

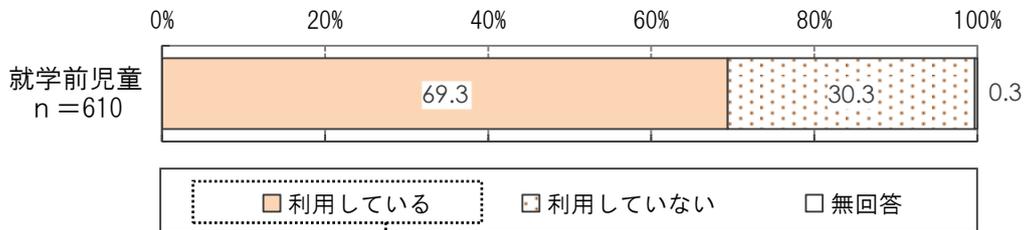
※「問13 保護者の就労状況」の回答対象者は下記設問の回答をもとに分類しているため、「問7 父母との同居状況」の回答数とは一致しない。

家族類型	問4 調査の回答者	問5 回答者の配偶関係
両親のいる世帯 ⇒	母親および父親	配偶者がいる
母親のみひとり親世帯 ⇒	母親	配偶者がいない
父親のみひとり親世帯 ⇒	父親	配偶者がいない
回答者その他のため不明 ⇒	その他	-

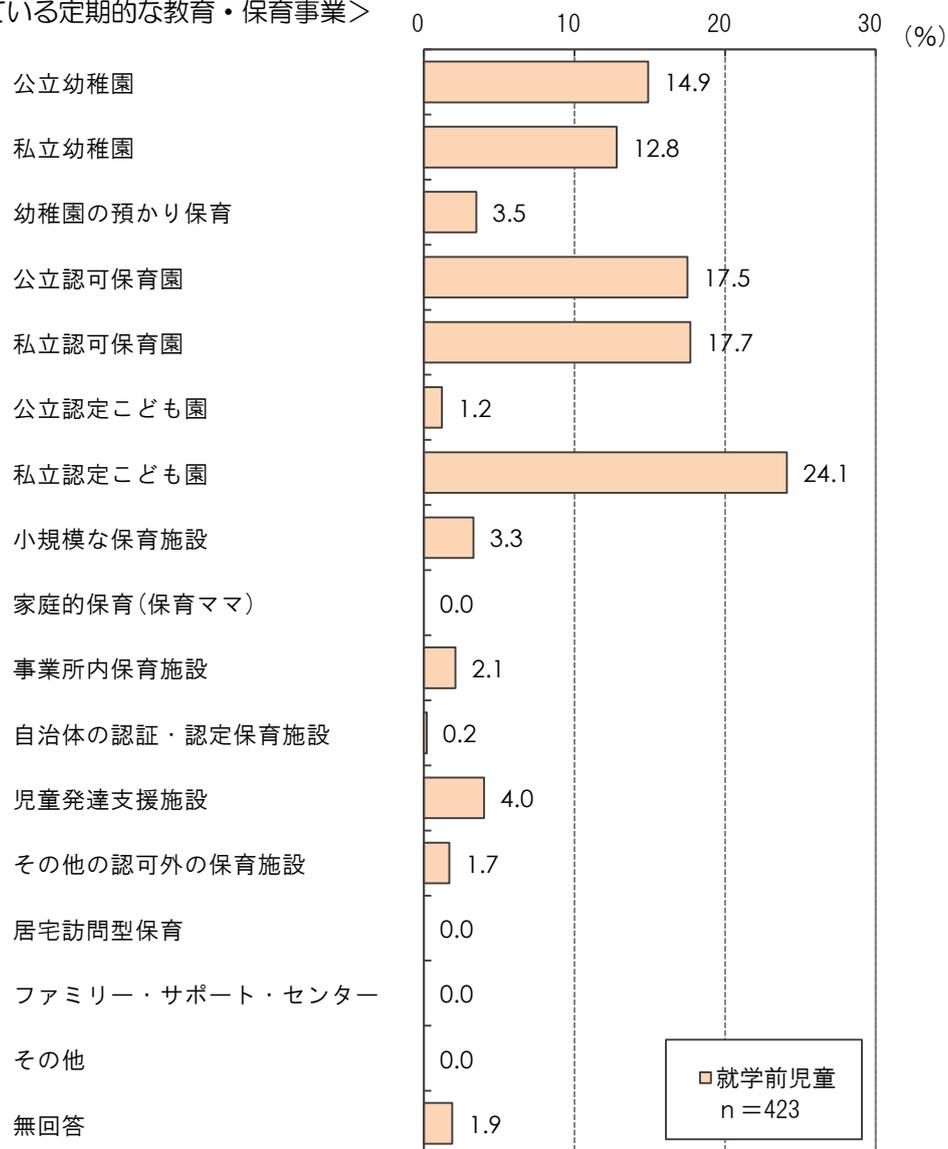
◎平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

(1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況（単数回答）・
現在、利用している定期的な教育・保育事業（複数回答可）

【就学前：問 14・問 14-1】



<現在、利用している定期的な教育・保育事業>

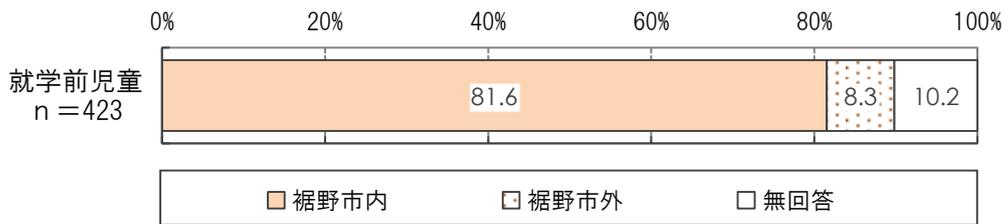


平日の定期的な教育・保育事業の利用状況については、「利用している」が69.3%、「利用していない」が30.3%となっています。

現在、利用している定期的な教育・保育事業については、「私立認定こども園」が24.1%と最も多く、次いで「私立認可保育園」が17.7%、「公立認可保育園」が17.5%などとなっています。

(2) 現在、利用している定期的な教育・保育事業の実施場所（単数回答）

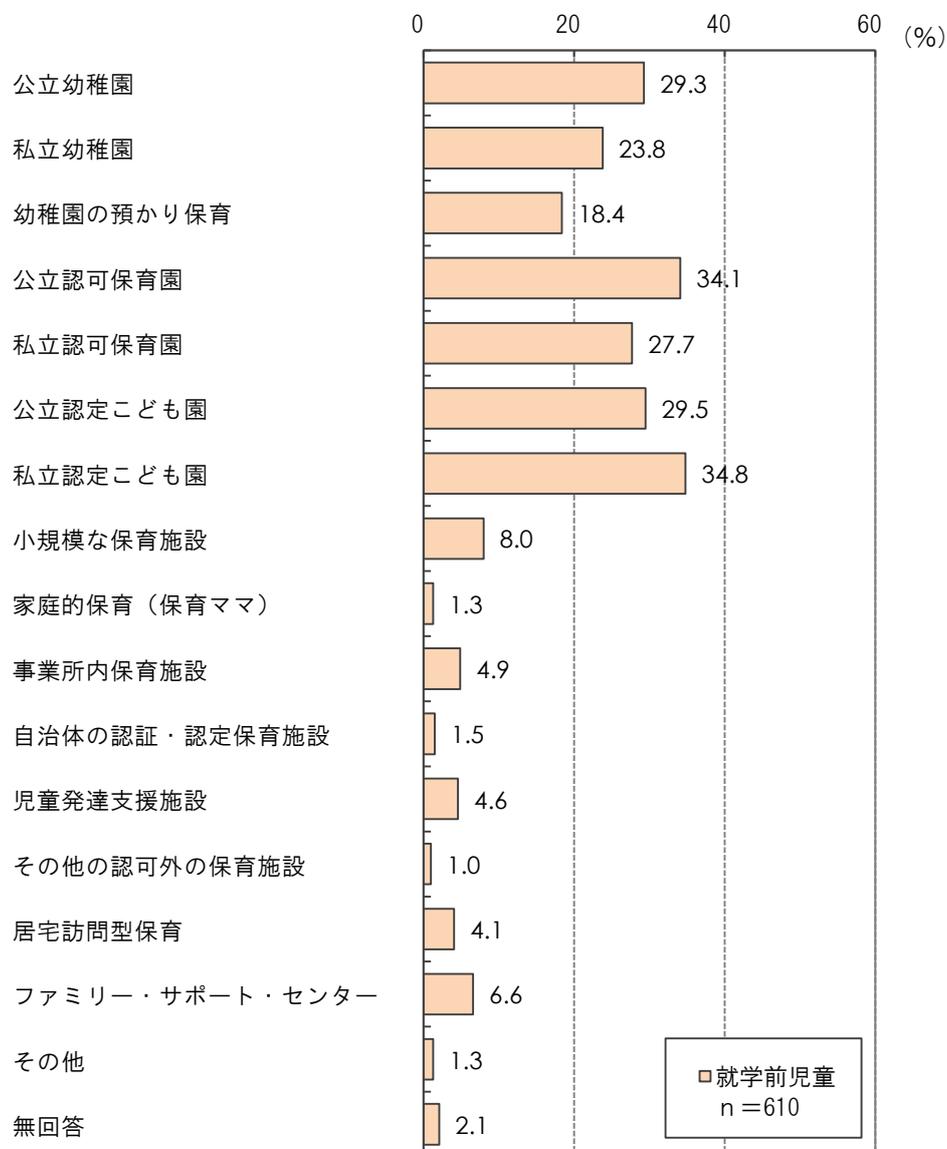
【就学前：問 14-3】



現在、利用している定期的な教育・保育事業の実施場所については、「裾野市内」が81.6%と最も多く、次いで「裾野市外」が8.3%となっています。

(3) 定期的にご利用したいと考える平日の教育・保育事業（複数回答可）

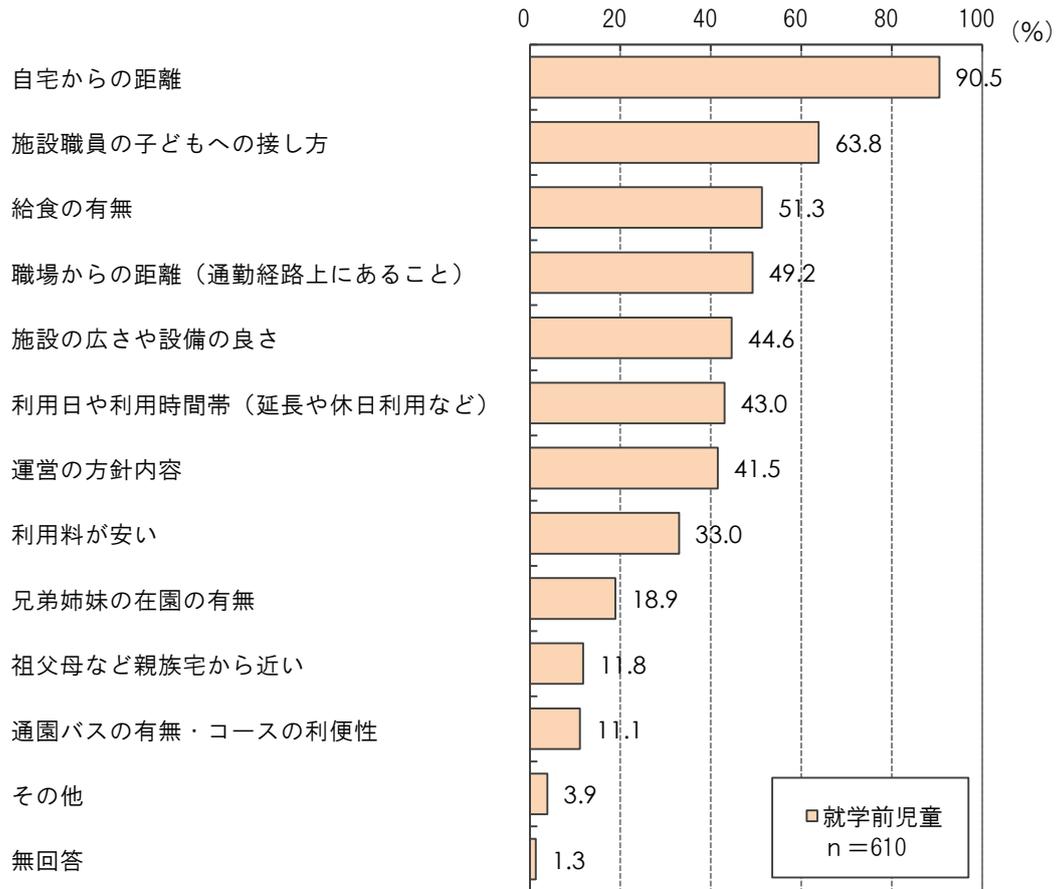
【就学前：問 15】



定期的にご利用したいと考える平日の教育・保育事業については、「私立認定こども園」が34.8%と最も多く、次いで「公立認可保育園」が34.1%、「公立認定こども園」が29.5%などとなっています。

(4) 教育・保育事業の施設を選ぶ際のポイント（複数回答可）

【就学前：問17】



教育・保育事業の施設を選ぶ際のポイントについては、「自宅からの距離」が90.5%と最も多く、次いで「施設職員の子どもへの接し方」が63.8%、「給食の有無」が51.3%などとなっています。

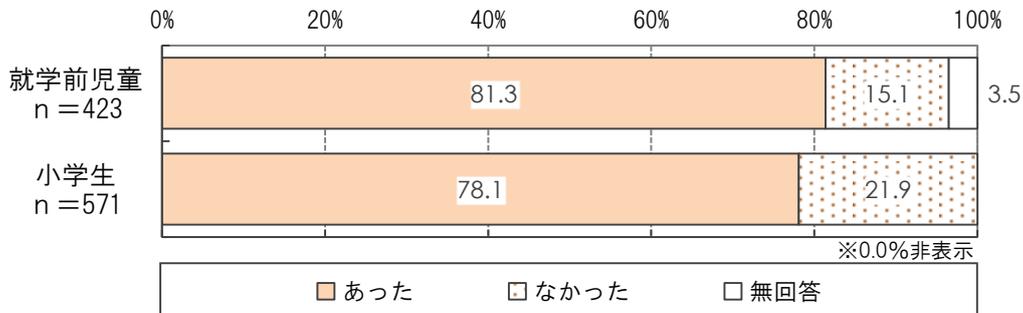
◎病気の際の対応について

※対象の子どもが平日の定期的な教育・保育事業を利用している回答者の方のみ（就学前児童）

（1）過去1年間の子どもが病気やケガで学校を休んだり教育・保育事業を利用できなかったことの有無
（単数回答）

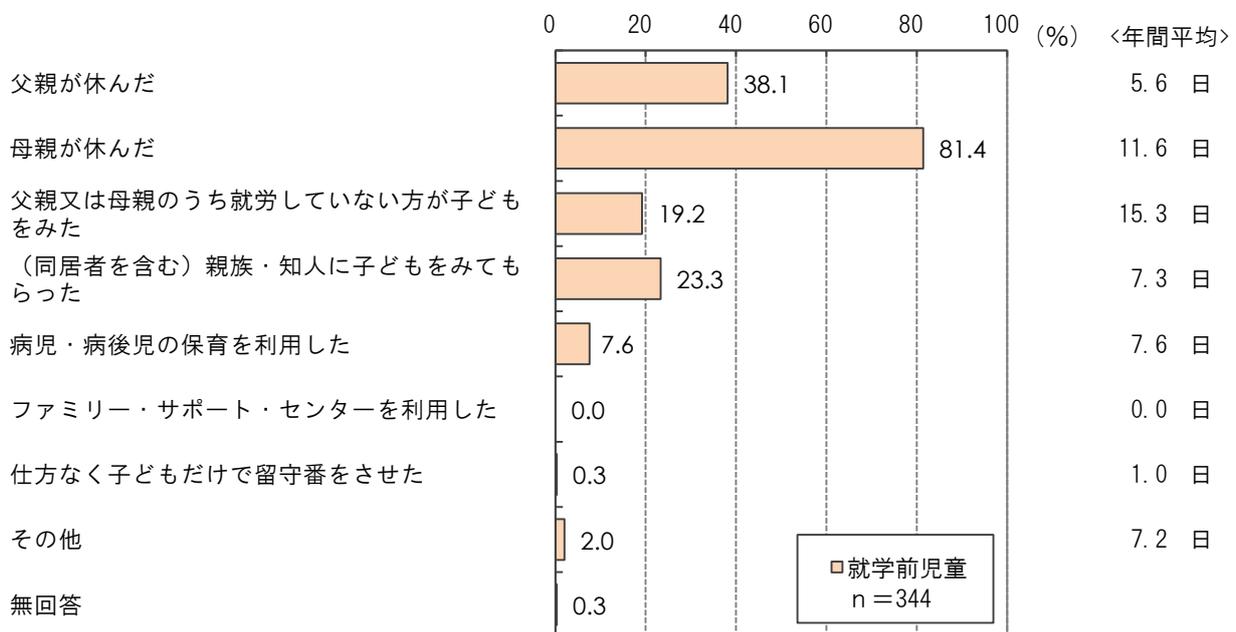
学校を休んだ場合や定期的な教育・保育事業を利用できなかった場合の対処方法（複数回答可）

【就学前：問 22・問 22-1、小学生：問 16・問 16-1】



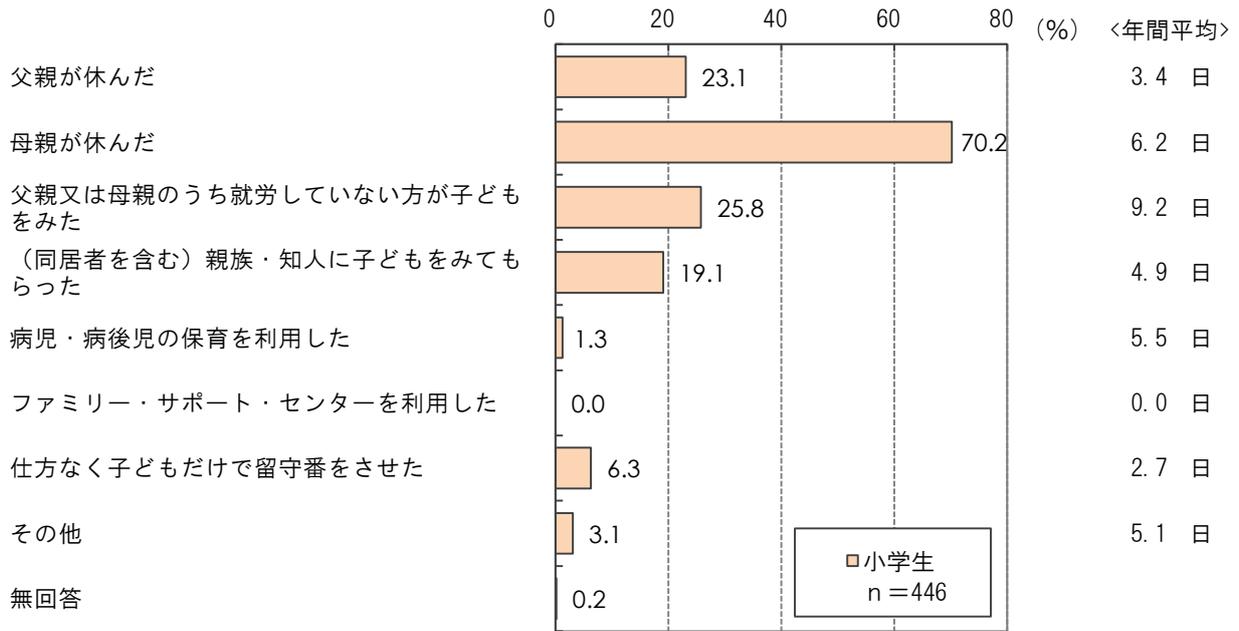
過去1年間に子どもが病気やケガで学校を休んだり教育・保育事業を利用できなかったことの有無については、就学前児童において「あった」が81.3%、「なかった」が15.1%となっています。小学生においては「あった」が78.1%、「なかった」が21.9%となっています。

<就学前児童 対処方法・年間平均利用日数>



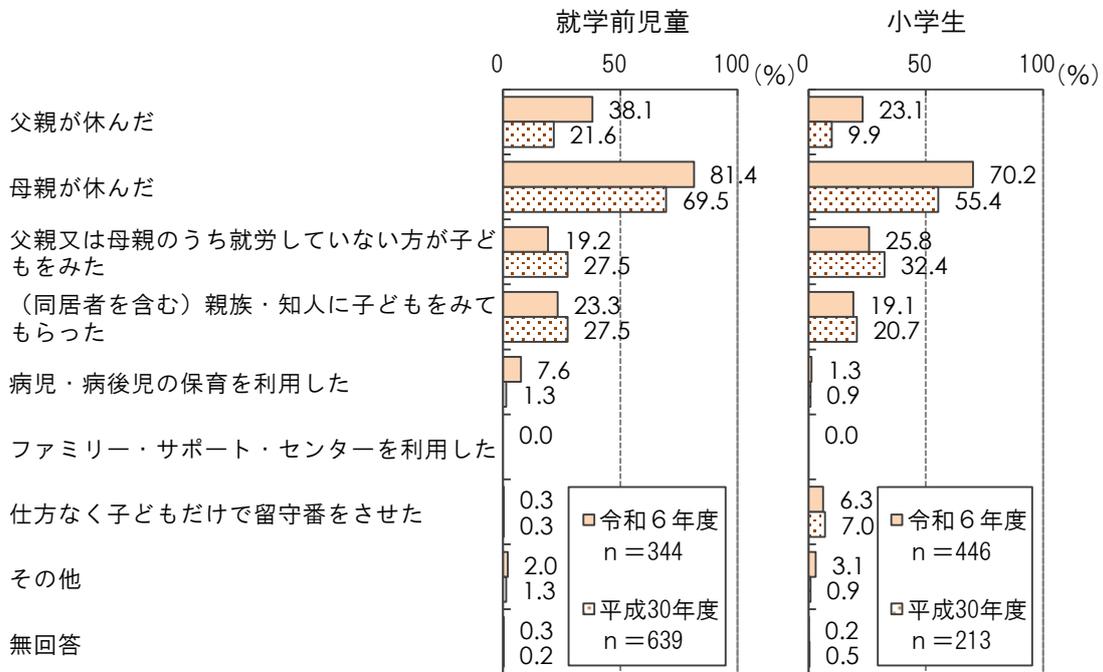
病気やケガで学校を休んだり教育・保育事業を利用できなかった際の対処方法については、就学前児童において「母親が休んだ」が81.4%と最も多く、その年間平均日数は11.6日、次いで「父親が休んだ」が38.1%で、その年間平均日数は5.6日などとなっています。

＜小学生 対処方法・年間平均利用日数＞



小学生においては「母親が休んだ」が70.2%と最も多く、その年間平均日数は6.2日、次いで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が25.8%、その年間平均日数は9.2日などとなっています。

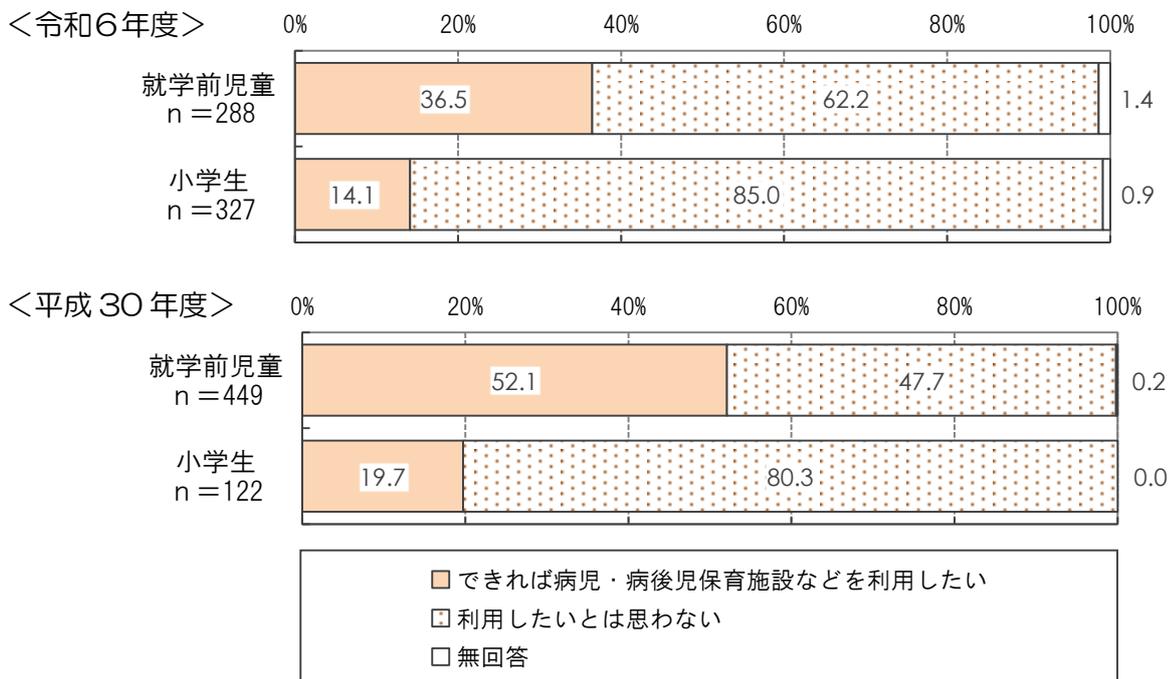
＜対処方法【経年比較】＞



平成30年度調査と比較すると、就学前児童・小学生の双方において「父親が休んだ」「母親が休んだ」がいずれも10.0ポイント以上増加しています。

(2) この1年で、子どもが病気やケガで学校を休んだり教育・保育事業が利用できなかった時に父親または母親が仕事を休んだ人のみ
 病児・病後児保育施設の利用意向（単数回答）

【就学前：問 22－2、小学生：問 16－2】



病児・病後児保育施設の利用意向については、就学前児童において「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」が36.5%、「利用したいとは思わない」が62.2%となっています。小学生においては「利用したいとは思わない」が85.0%を占めています。

平成30年度調査と比較すると、就学前児童において「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が15.6ポイント減少しています。

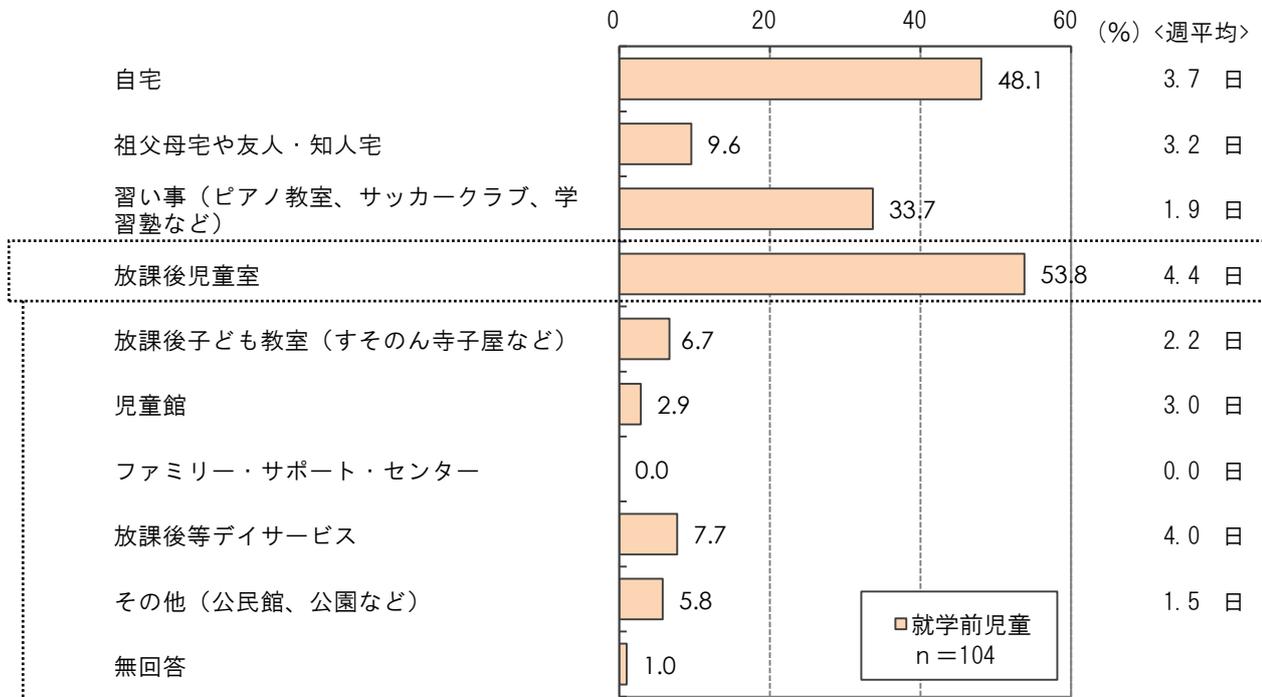
◎小学校就学後の放課後の過ごし方について

※対象の子どもが来年度小学校に入学する回答者の方のみ（就学前児童）

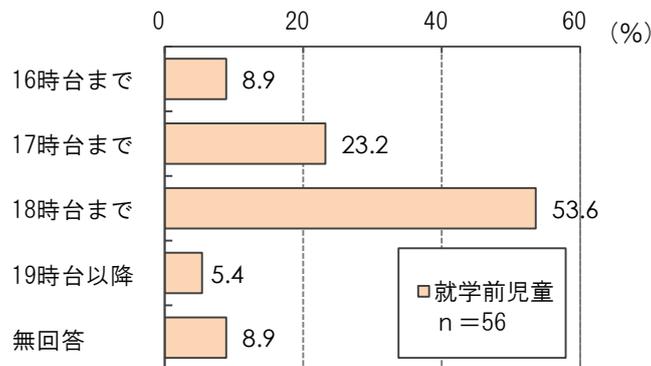
（１）小学校低学年時及び高学年時の放課後の過ごし方の希望（複数回答可）

【就学前：問 26・問 27】

<低学年時の放課後の過ごし方の希望>

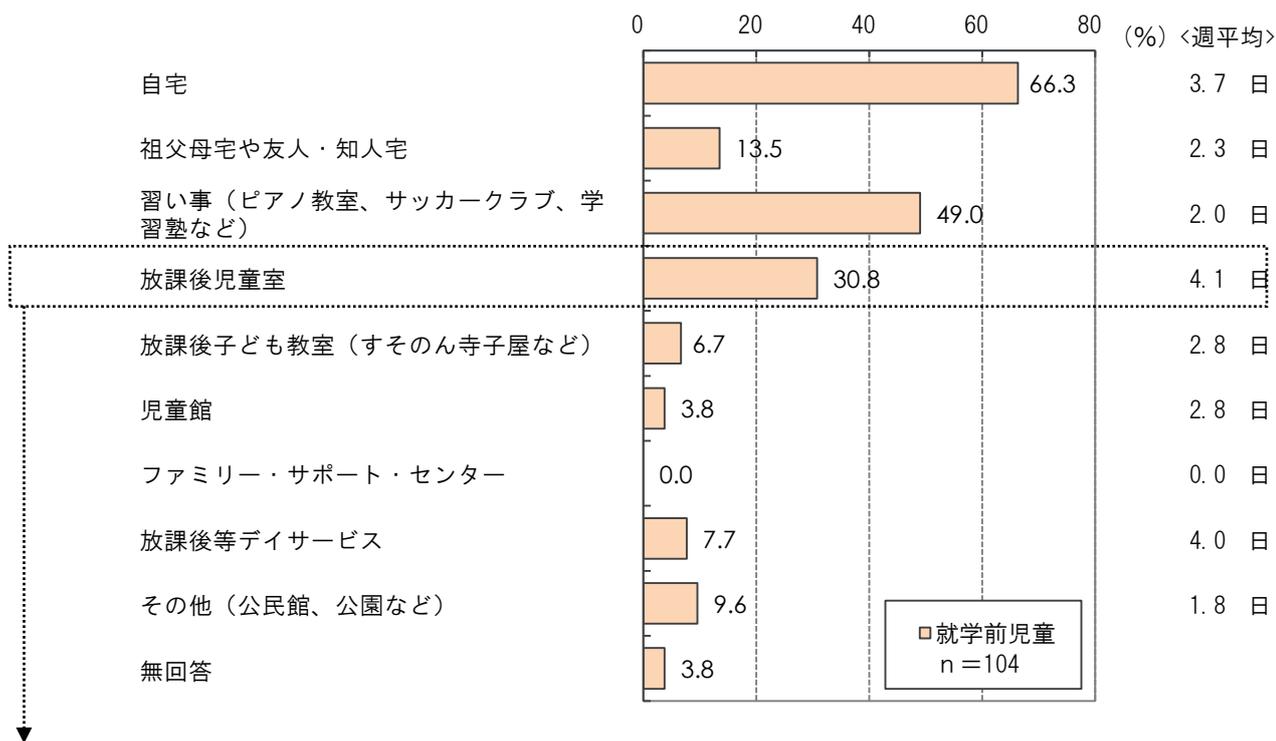


<放課後児童室の希望利用終了時刻>

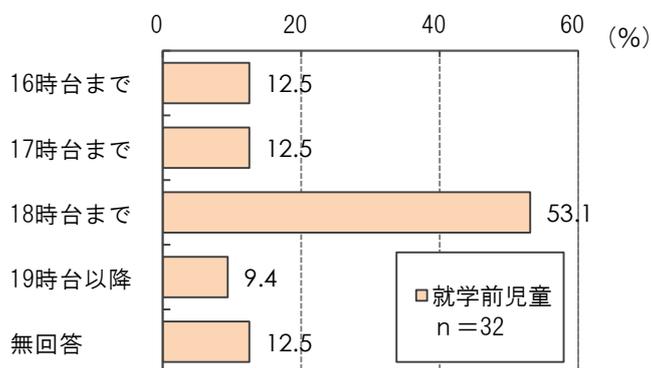


放課後の過ごし方の希望については、小学校低学年時において「放課後児童室」が53.8%と最も多く、次いで「自宅」が48.1%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が33.7%などとなっています。小学校低学年時の「放課後児童室」に預けたい時間については、「18時台まで」が53.6%と最も多くなっています。

<高学年時の放課後の過ごし方の希望>



<放課後児童室の希望利用終了時刻>

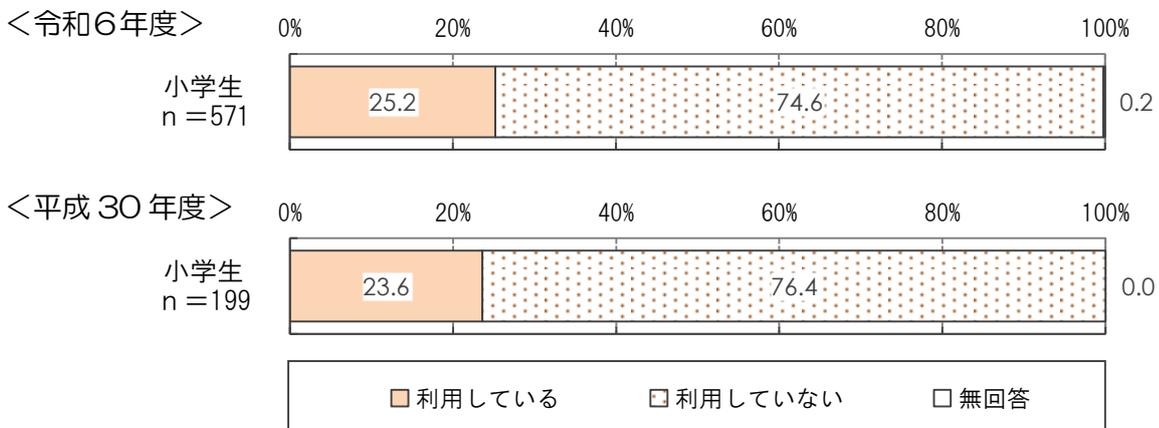


放課後の過ごし方の希望については、小学校高学年時においては「自宅」が66.3%と最も多く、次いで「習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が49.0%、「放課後児童室」が30.8%などとなっています。小学校高学年時の「放課後児童室」に預けたい時間については、小学校低学年時と同様に「18時台まで」が53.1%と最も多くなっています。

◎放課後児童室の利用状況・利用意向について

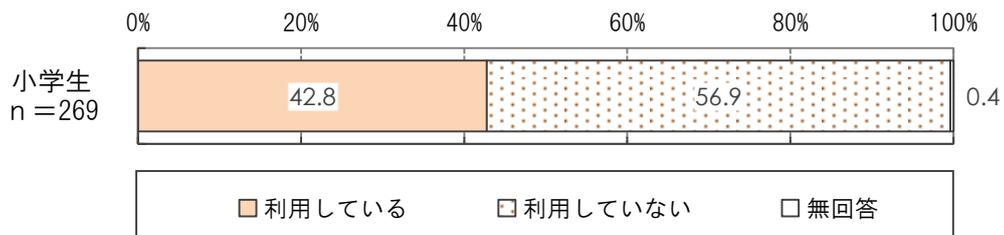
(1) 放課後児童室の利用状況（単数回答）

【小学生：問 14】



※平成 30 年度調査では、当時放課後児童室が受け入れ対象としていた小学 1～3 年生のこどもがいる回答者のみを対象としている。

※令和6年度の回答のうち、小学 1～3 年生のみを集計した結果

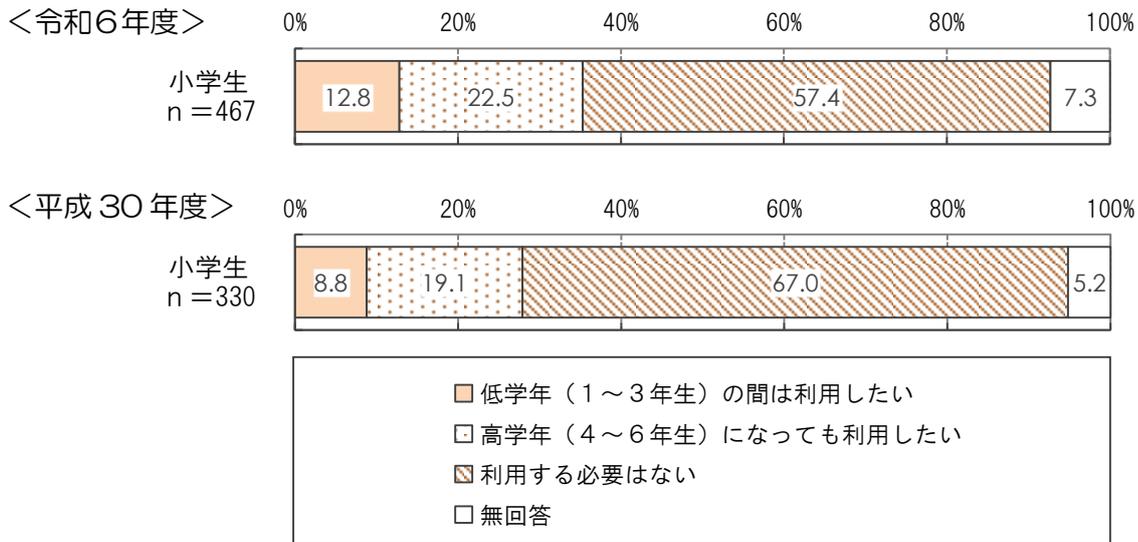


放課後児童室の利用状況は、「利用している」が25.2%、「利用していない」が74.6%となっています。

小学 1～3 年生のみに限定して平成30年度調査と比較すると、「利用している」が19.2ポイント増加しています。

(2) 来年度以降の長期休暇中における放課後児童室の利用意向（単数回答）

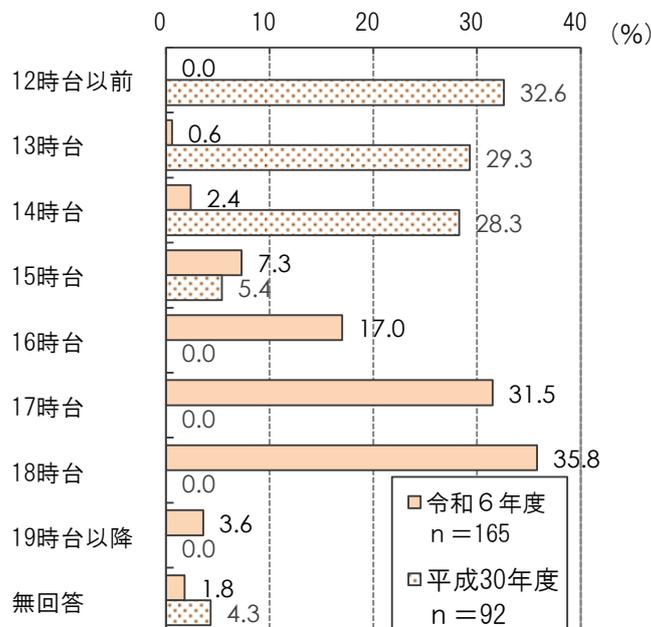
【小学生：問 15（4）】



来年度以降の長期休暇中における放課後児童室の利用意向については、「利用する必要はない」が57.4%と最も多く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が22.5%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が12.8%となっています。

平成30年度と比較すると、「利用する必要はない」が9.6ポイント減少し、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」「高学年（4～6年生）になっても利用したい」がそれぞれ増加しています。

＜長期休暇中の利用希望終了時刻＞



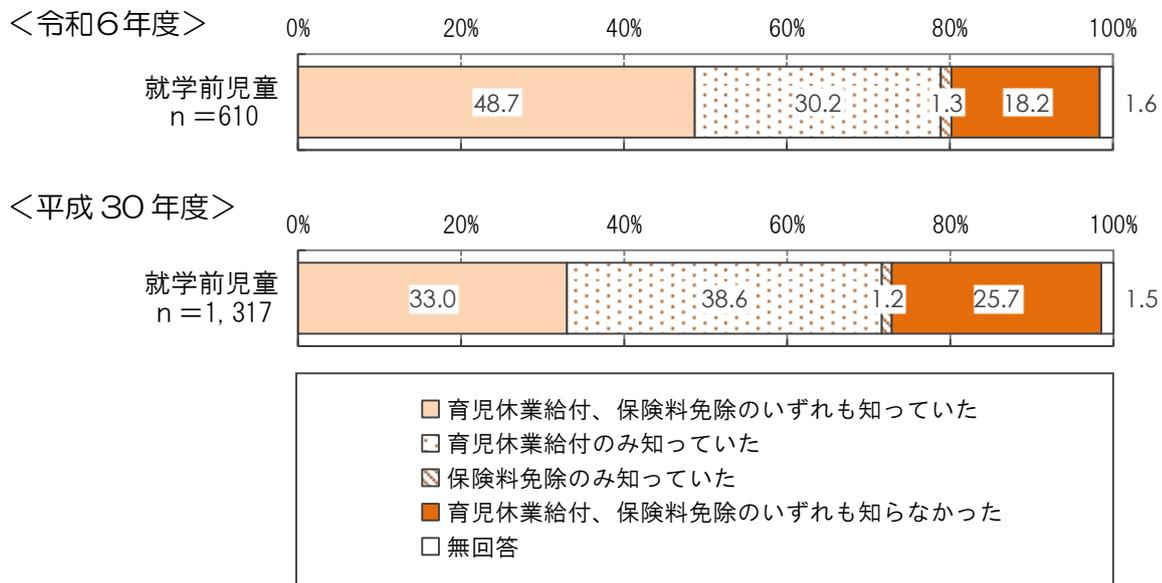
長期休暇期間中の利用希望終了時刻については、「18時台」が35.8%と最も多く、次いで「17時台」が31.5%、「16時台」が17.0%となっています。

平成30年度と比較すると、平成30年度においては16時台以降を選択する回答が大幅に増加し、14時台以前を選択する回答が大幅に減少しています。

◎育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

(1) 育児休業給付、保険料免除の認知度（単数回答）

【就学前：問 30】

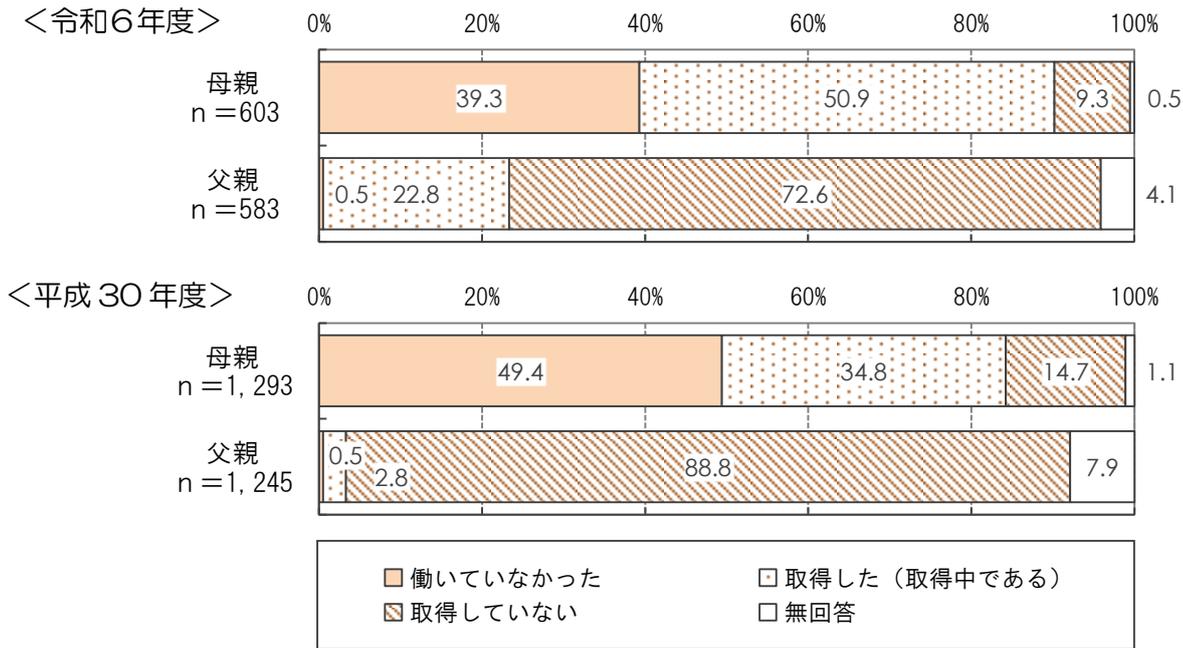


育児休業給付、保険料免除の認知度については、就学前児童において「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が48.7%と最も多く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」が30.2%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が18.2%などとなっています。

平成30年度と比較すると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が15.7ポイント増加し、「育児休業給付のみ知っていた」「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」がそれぞれ5.0ポイント以上減少しています。

(2) 育児休業の取得状況（単数回答）

【就学前：問31】

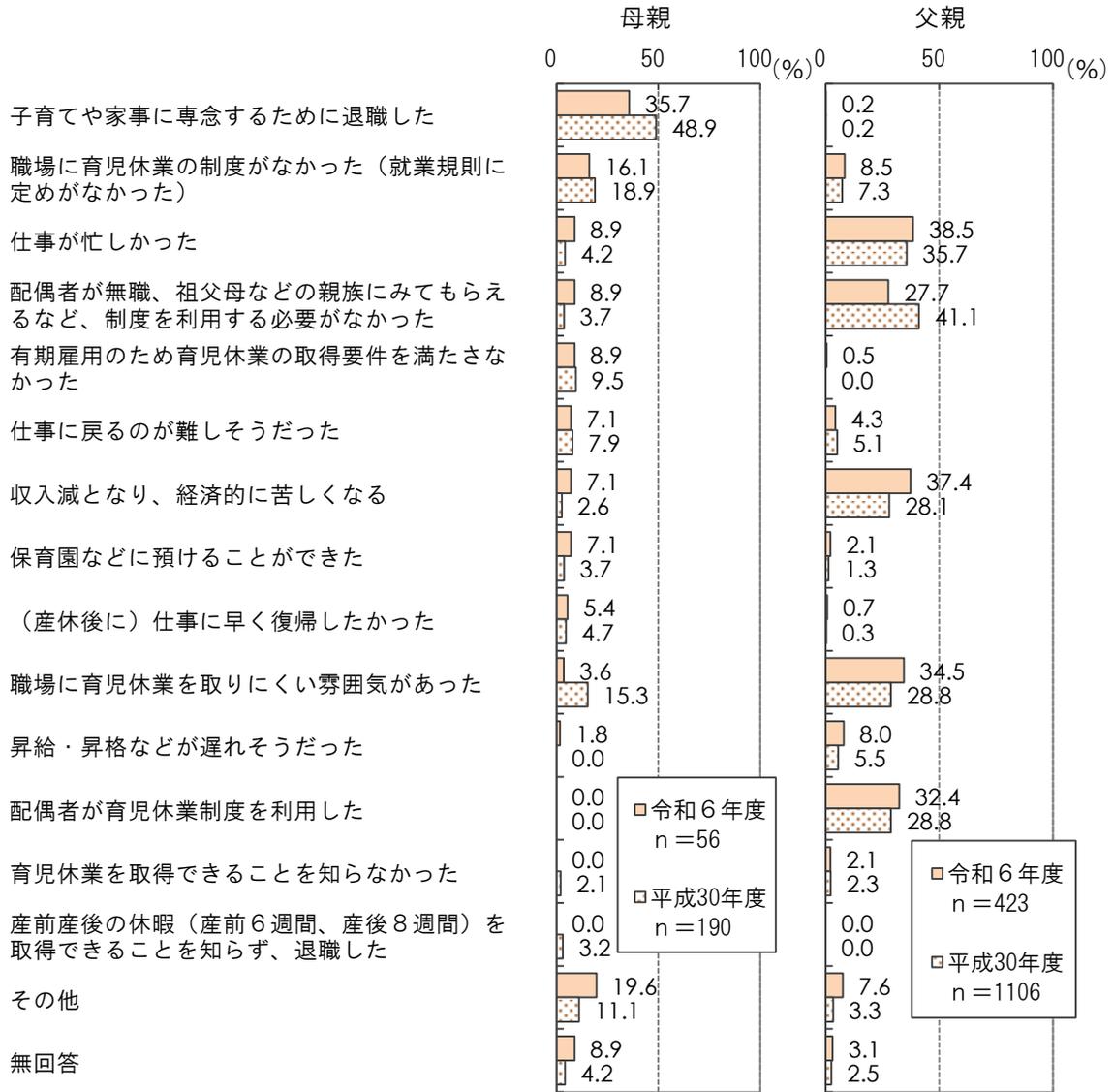


育児休業の取得状況については、母親において「取得した（取得中である）」が50.9%と最も多く、次いで「働いていなかった」が39.3%、「取得していない」が9.3%となっています。父親においては「取得していない」が72.6%と最も多く、次いで「取得した（取得中である）」が22.8%などとなっています。

平成30年度と比較すると、母親において「取得した（取得中である）」が16.1ポイント増加し、「働いていなかった」「取得していない」がそれぞれ5.0ポイント上減少しています。父親においては、「取得した（取得中である）」が20.0ポイント増加し、「取得していない」が16.2ポイント減少しています。

(3) 育児休業を取得していない理由（複数回答可）

【就学前：問31】



育児休業を取得していない理由については、母親において「子育てや家事に専念するために退職した」が35.7%と最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が16.1%、「仕事が忙しかった」「配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」がいずれも8.9%などとなっています。

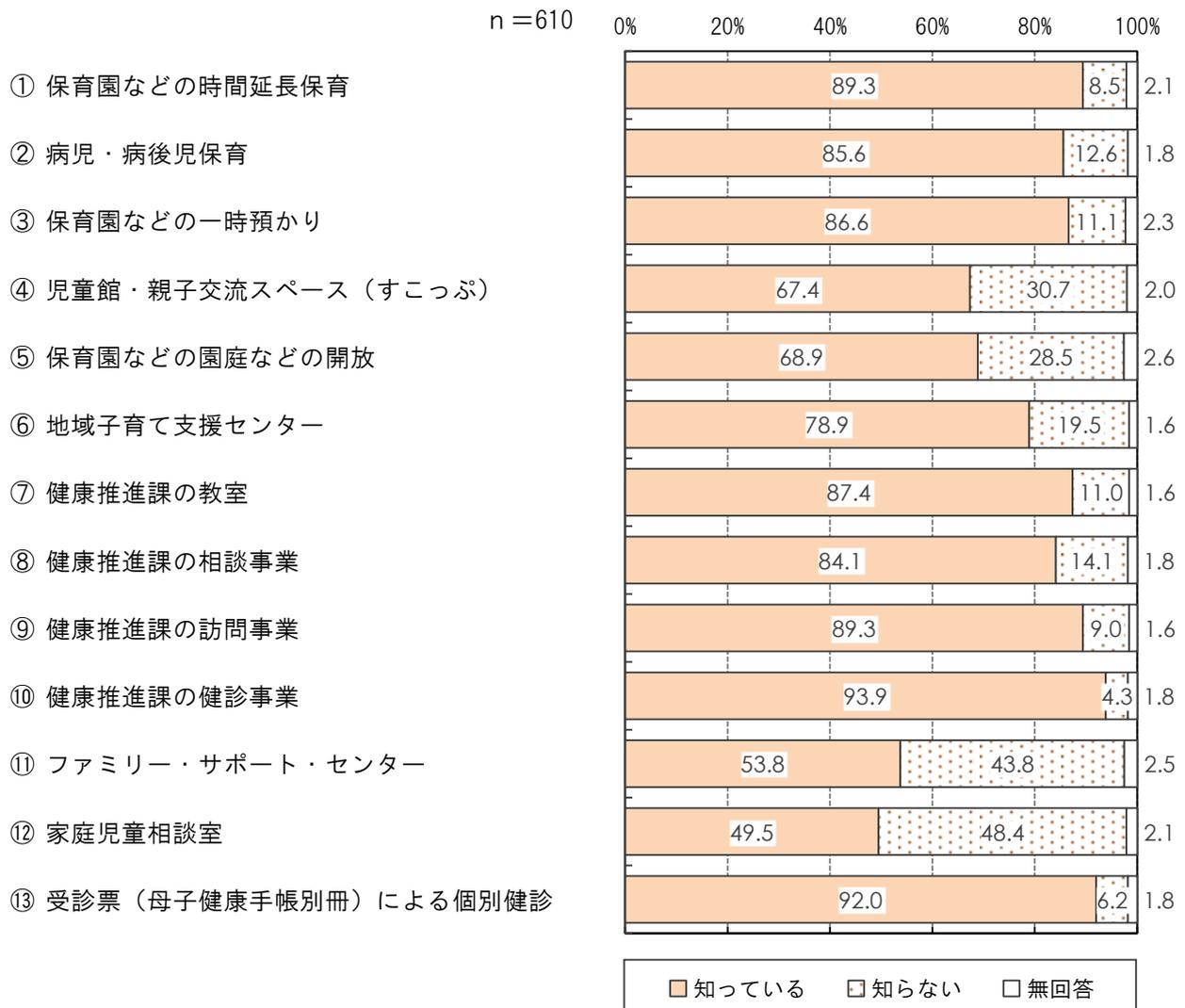
平成30年度と比較すると、母親において「子育てや家事に専念するために退職した」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が10.0ポイント以上減少しています。父親においては、「配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が13.4ポイント減少し、「収入減となり、経済的に苦しくなる」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」がそれぞれ5.0ポイント以上増加しています。

◎裾野市の子育てに関する一般的な事項について

(1) 裾野市で実施している事業の認知度（単数回答）

【就学前：問 32、小学生：問 20】

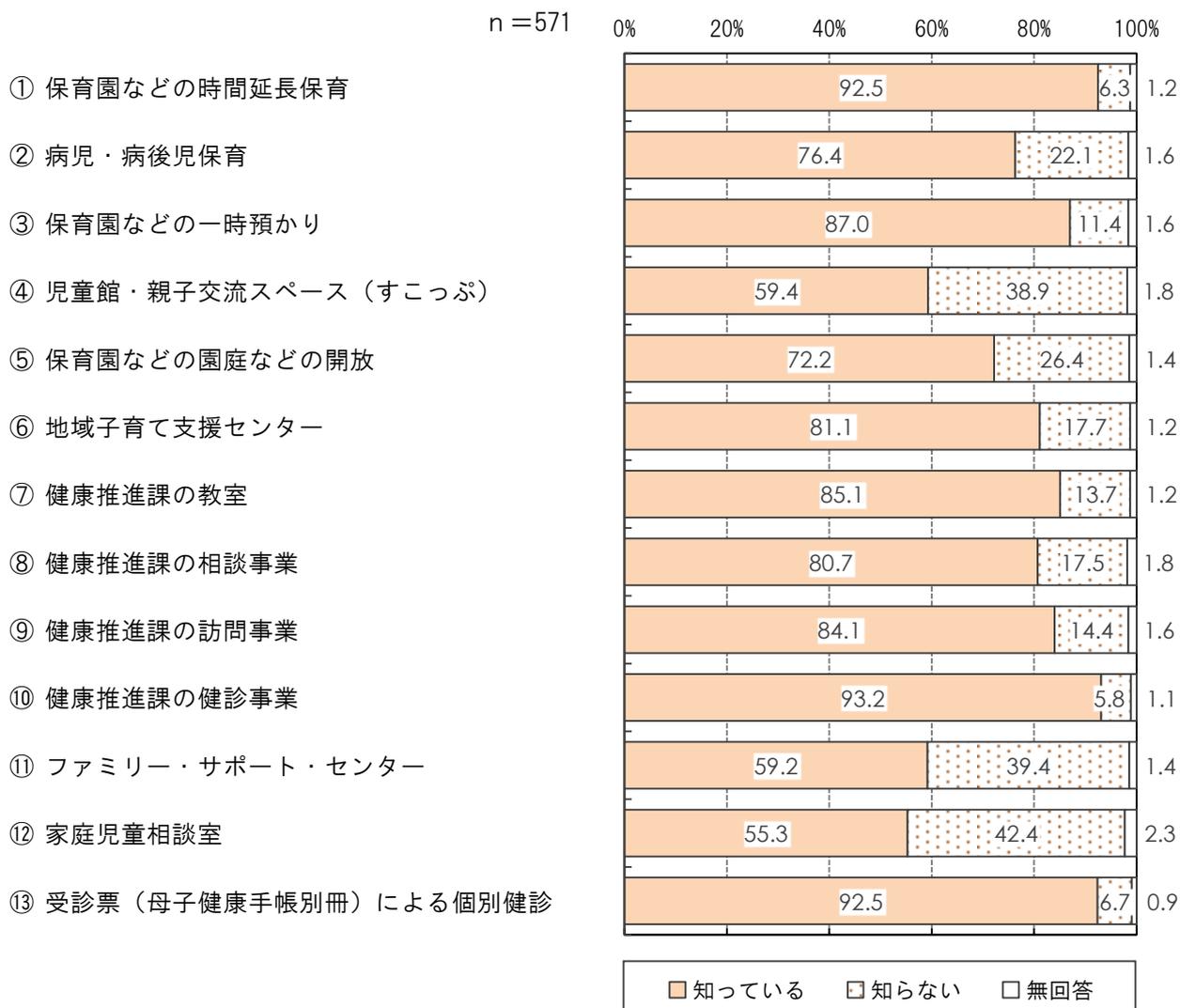
<就学前児童>



裾野市で実施している事業の認知度については、就学前児童において「知っている」が多いものの上位3項目は、【⑩健康推進課の健診事業】が93.9%、【⑬受診票（母子健康手帳別冊）による個別健診】が92.0%、【①保育園などの時間延長保育】、【⑨健康推進課の訪問事業】がともに89.3%の順となっています。一方、「知っている」が少ないものは、【⑫家庭児童相談室】が49.5%、【⑪ファミリー・サポート・センター】が53.8%、【④児童館・親子交流スペース（すこっぷ）】が67.4%の順となっています。

<小学生>

n = 571

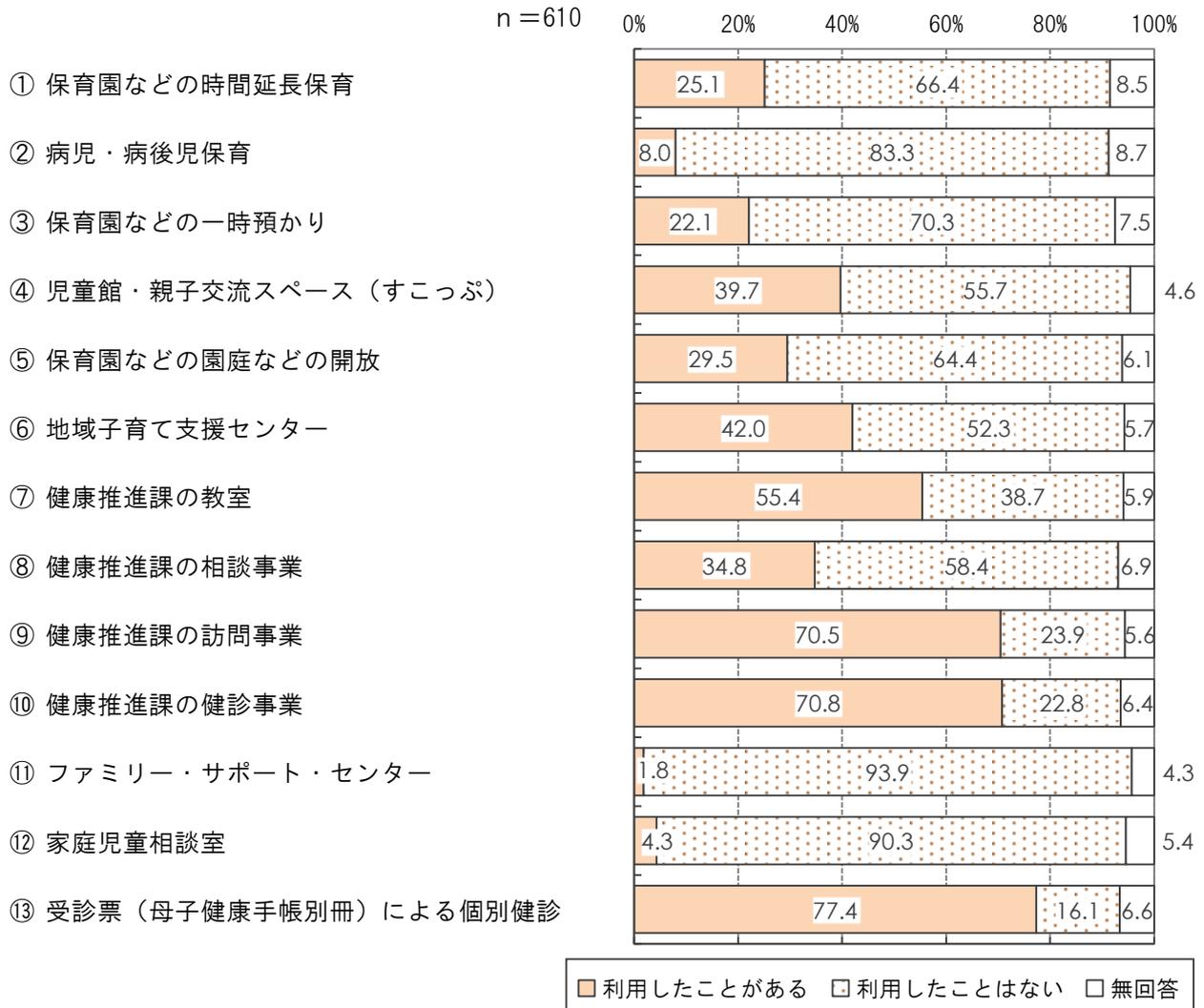


小学生において「知っている」が多いものの上位3項目は、【⑩健康推進課の健診事業】が93.2%、【①保育園などの時間延長保育】、【⑬受診票（母子健康手帳別冊）による個別健診】がともに92.5%、【③保育園など一時預かり】が87.0%の順となっています。一方、「知っている」が少ないものは、【⑫家庭児童相談室】が55.3%、【⑪ファミリー・サポート・センター】が59.2%、【④児童館・親子交流スペース（すこっぷ）】が59.4%の順となっています。

(2) 裾野市で実施している事業の利用経験の有無（単数回答）

【就学前：問 32、小学生：問 20】

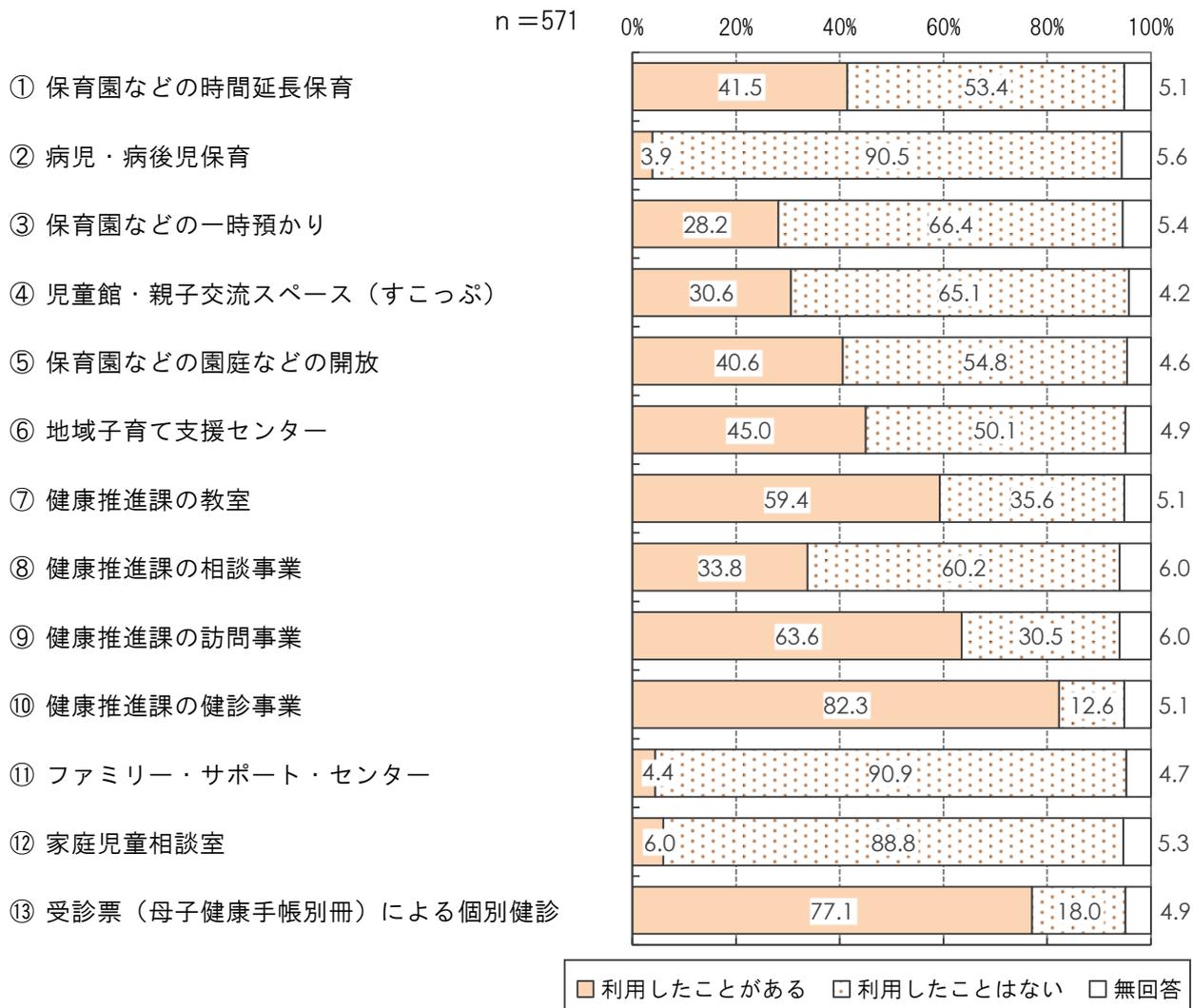
<就学前児童>



利用経験については、就学前児童において「利用したことがある」が多いものの上位3項目は、【⑬受診票（母子健康手帳別冊）による個別健診】が77.4%、【⑩健康推進課の健診事業】が70.8%、【⑨健康推進課の訪問事業】が70.5%の順となっています。一方、「利用したことがある」が少ないものは、【⑪ファミリー・サポート・センター】が1.8%、【⑫家庭児童相談室】が4.3%、【②病児・病後児保育】が8.0%の順となっています。

<小学生>

n = 571

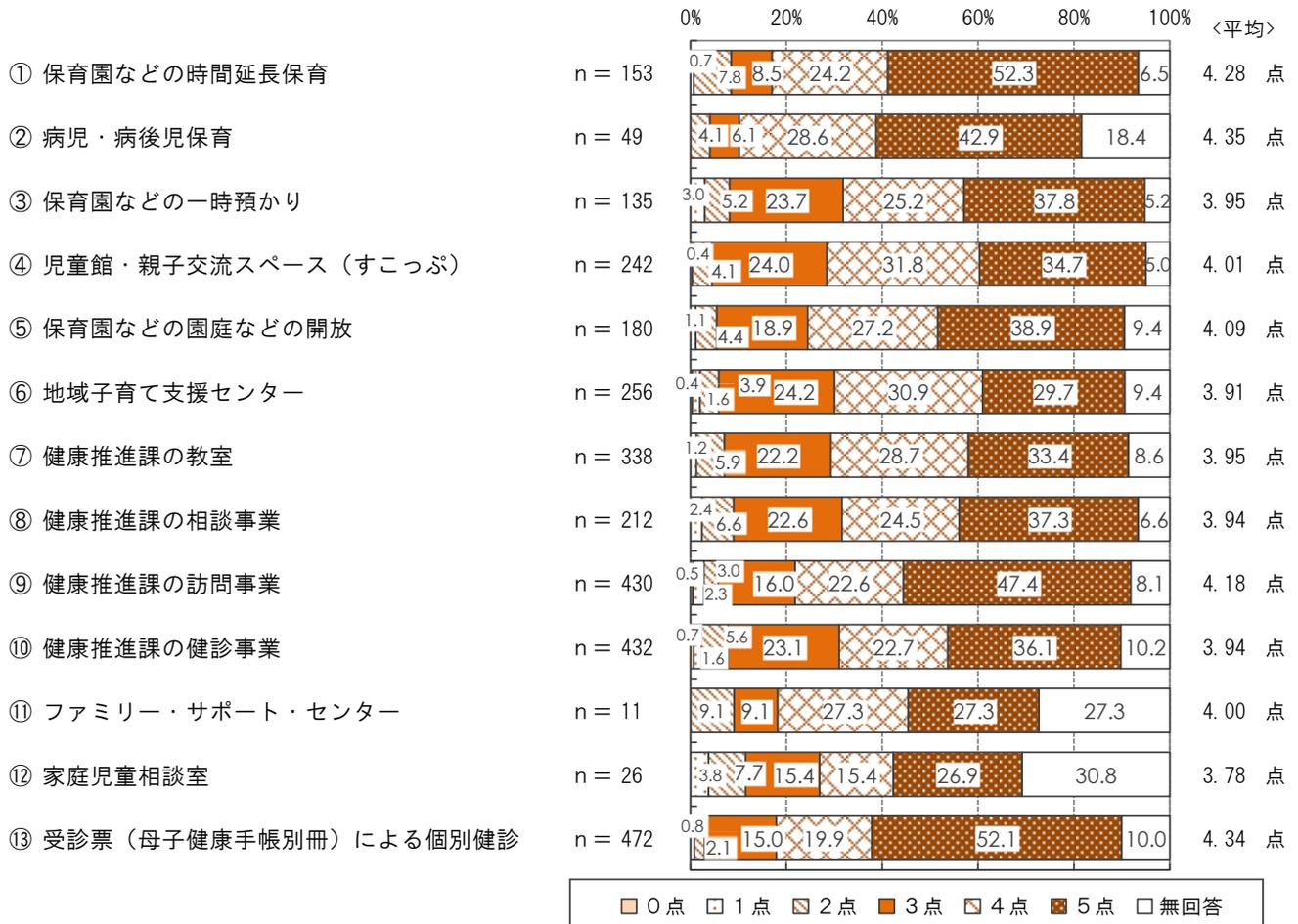


小学生において「利用したことがある」が多いものの上位3項目は、【⑩健康推進課の健診事業】が82.3%、【⑬受診票（母子健康手帳別冊）による個別健診】が77.1%、【⑨健康推進課の訪問事業】が63.6%の順となっています。一方、「利用したことがある」が少ないものは、【②病児・病後児保育】が3.9%、【⑪ファミリー・サポート・センター】が4.4%、【⑫家庭児童相談室】が6.0%の順となっています。

(3) 利用した事業の満足度

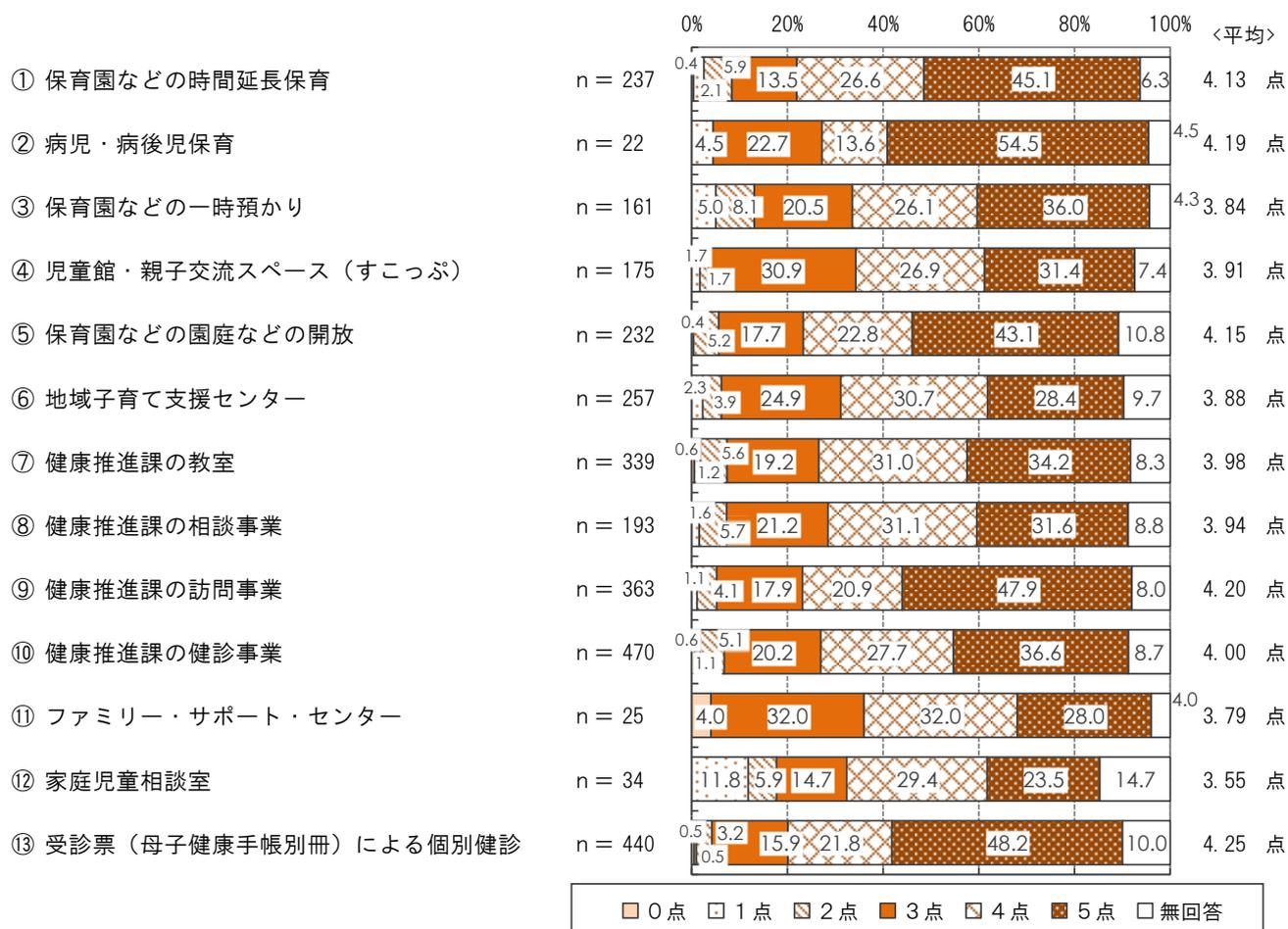
【就学前：問 32、小学生：問 20】

<就学前児童>



利用した事業の満足度については、就学前児童において平均点が高いものの上位3項目は、【②病児・病後児保育】が4.35点、【⑬受診票（母子健康手帳別冊）による個別健診】が4.34点、【①保育園などの時間延長保育】が4.28点の順となっています。一方、平均点が低いものは、【⑫家庭児童相談室】が3.78点、【⑥地域子育て支援センター】が3.91点、【⑧健康推進課の相談事業】、【⑩健康推進課の健診事業】がともに3.94点の順となっています。

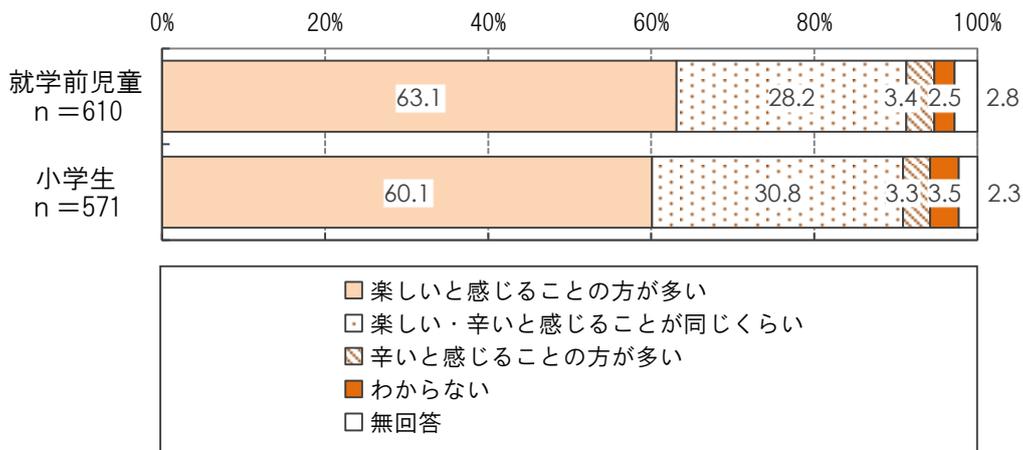
<小学生>



小学生において平均点が高いものの上位3項目は、【⑬受診票（母子健康手帳別冊）による個別健診】が4.25点、【⑨健康推進課の訪問事業】が4.20点、【②病児・病後児保育】が4.19点の順となっています。一方、平均点が低いものは、【⑫家庭児童相談室】が3.55点、【⑪ファミリー・サポート・センター】が3.79点、【③保育園などの一時的預かり】が3.84点の順となっています。

(4) 裾野市での子育ては楽しいか（単数回答）

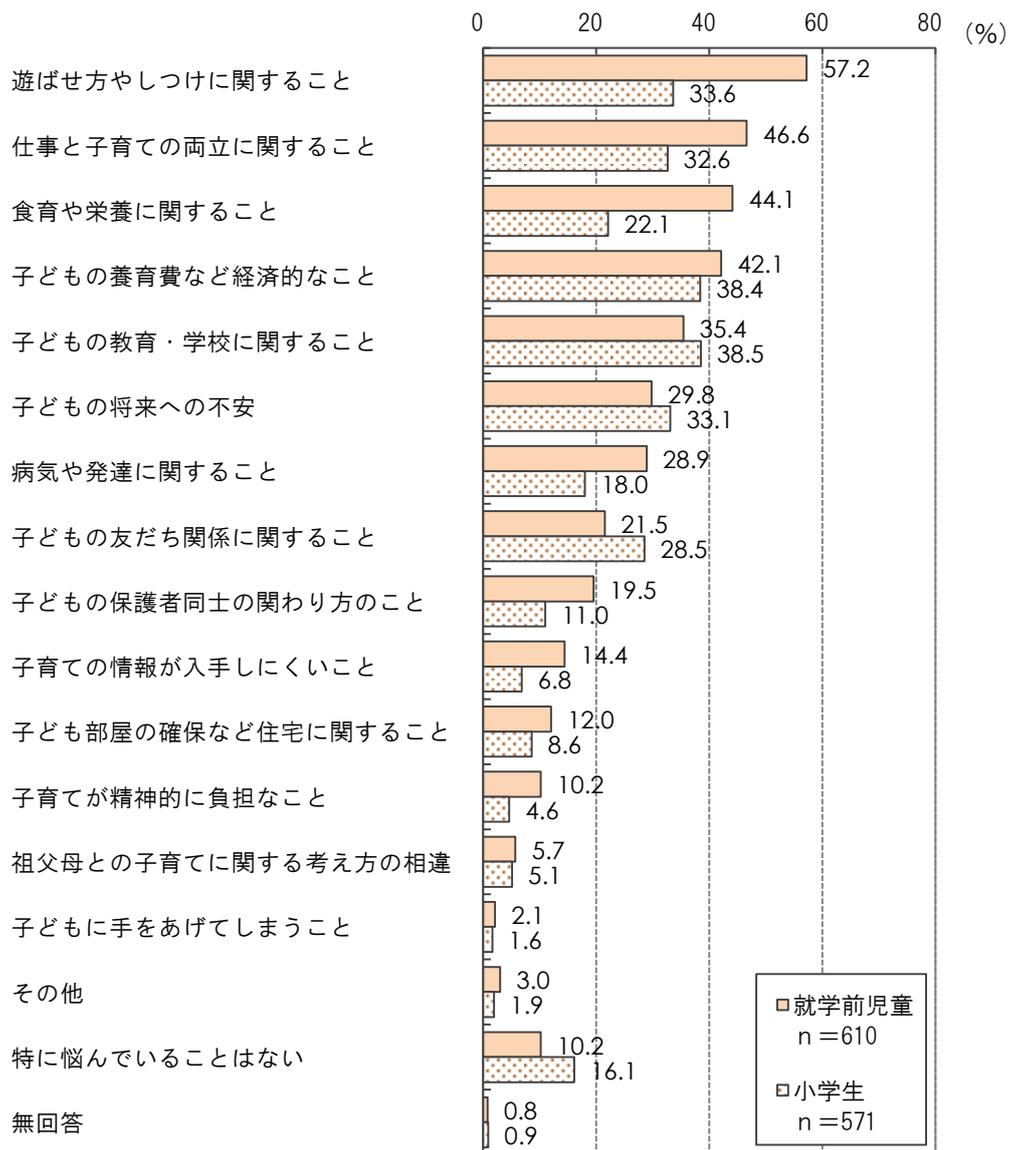
【就学前：問 33、小学生：問 21】



裾野市での子育てが楽しいかについては、就学前児童において「楽しいと感じることの方が多い」が63.1%と最も多く、次いで「楽しい・辛いと感じることが同じくらい」が28.2%、「辛いと感じることの方が多い」が3.4%などとなっています。小学生においても「楽しいと感じることの方が多い」が60.1%と最も多く、次いで「楽しい・辛いと感じることが同じくらい」が30.8%、「辛いと感じることの方が多い」が3.3%などとなっています。

(5) 子育てにおいて悩んでいること（複数回答可）

【就学前：問 34、小学生：問 22】

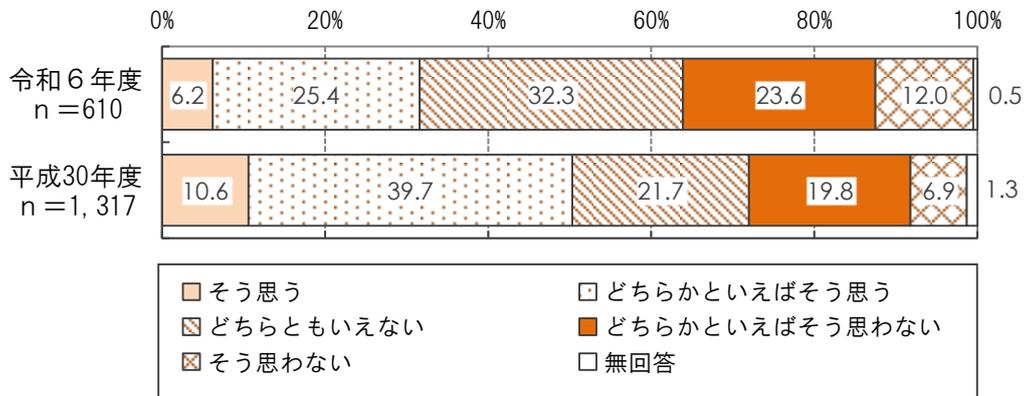


子育てにおいて悩んでいることについては、就学前児童において「遊ばせ方やしつけに関すること」が57.2%と最も多く、次いで「仕事と子育ての両立に関すること」が46.6%、「食育や栄養に関すること」が44.1%などとなっています。小学生においては「子どもの教育・学校に関すること」が38.5%と最も多く、次いで「子どもの養育費など経済的なこと」が38.4%、「遊ばせ方やしつけに関すること」が33.6%などとなっています。

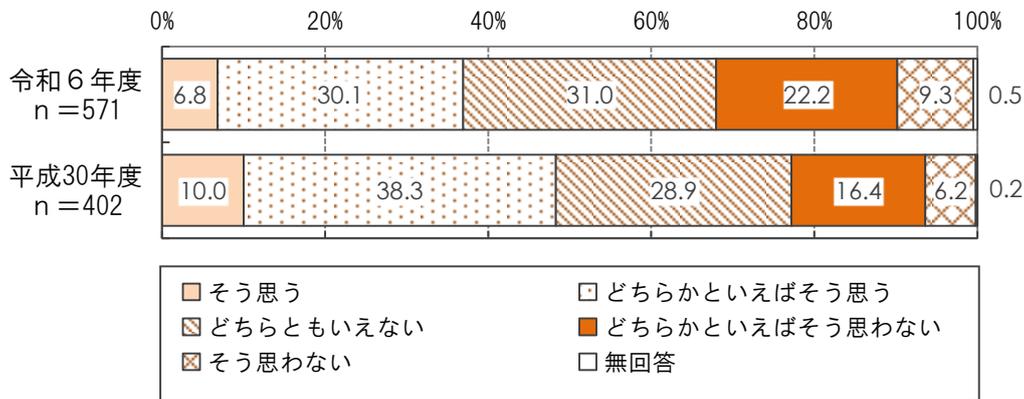
(6) 裾野市は子育てしやすいまちだと思うか（単数回答）

【就学前：問 35、小学生：問 23】

<就学前児童>



<小学生>



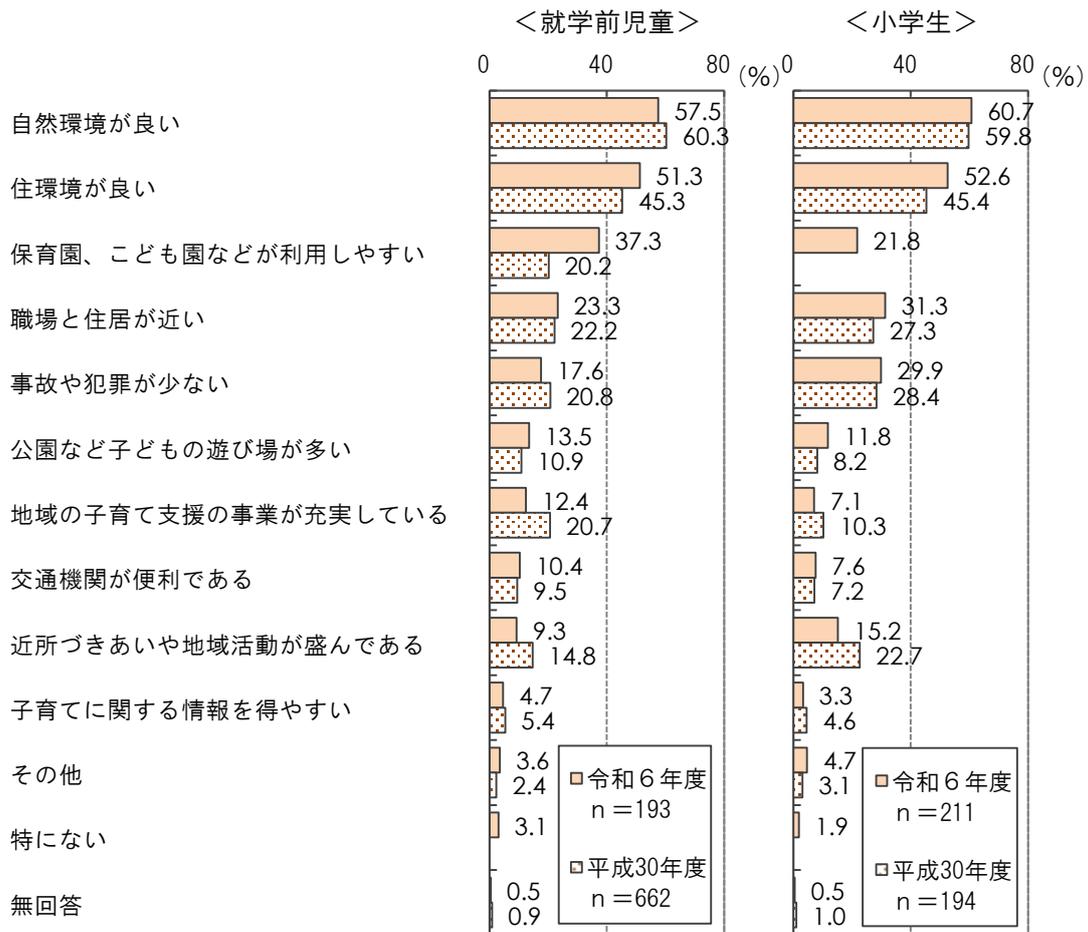
裾野市は子育てしやすいまちだと思うかについては、就学前児童において「どちらともいえない」が32.3%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が25.4%、「どちらかといえばそう思わない」が23.6%などとなっています。また、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）は31.6%、『そう思わない』（「そう思わない」＋「どちらかといえばそう思わない」）は35.6%となります。

小学生においては「どちらともいえない」が31.0%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が30.1%、「どちらかといえばそう思わない」が22.2%などとなっています。また、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）は37.0%、『そう思わない』（「そう思わない」＋「どちらかといえばそう思わない」）は31.5%となります。

平成30年度調査と比較すると、就学前児童において『そう思う』が18.7ポイント、小学生においても『そう思う』が11.3ポイント減少しています。

(7) (6) で『そう思う』と回答した方のみ
子育てしやすいまちだと思う理由（複数回答可）

【就学前：問 36、小学生：問 24】



【平成30年度調査における各選択肢について】

※就学前児童・小学生について、「特にない」は選択肢として設けられていなかった。

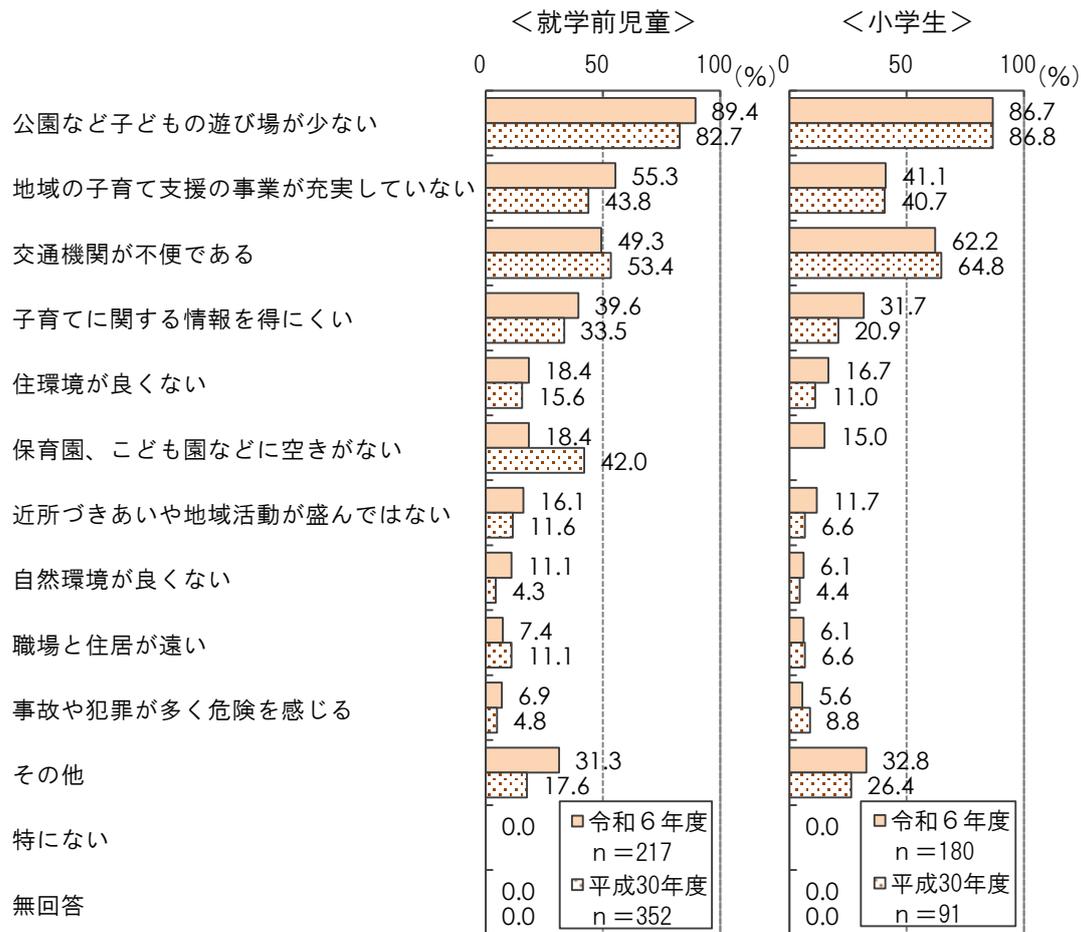
※小学生について、「保育園、こども園などが利用しやすい」は選択肢として設けられていなかった。

子育てしやすいまちだと思う理由については、就学前児童において「自然環境が良い」が57.5%と最も多く、次いで「住環境が良い」が51.3%、「保育園、こども園などが利用しやすい」が37.3%などとなっています。小学生においては「自然環境が良い」が60.7%と最も多く、次いで「住環境が良い」が52.6%、「職場と住居が近い」が31.3%などとなっています。

平成30年度調査と比較すると、就学前児童において「保育園、こども園などが利用しやすい」「住環境が良い」が5.0ポイント以上増加、「地域の子育て支援の事業が充実している」「近所づきあいや地域活動が盛んである」が5.0ポイント以上減少しています。小学生においては「住環境が良い」が7.2ポイント増加、「近所づきあいや地域活動が盛んである」が7.5ポイント減少しています。

(8)(6)で『そう思わない』と回答した方のみ
子育てしやすいまちだと思わない理由（複数回答可）

【就学前：問 37、小学生：問 25】



【平成30年度調査における各選択肢について】

※就学前児童・小学生について、「特になし」は選択肢として設けられていなかった。

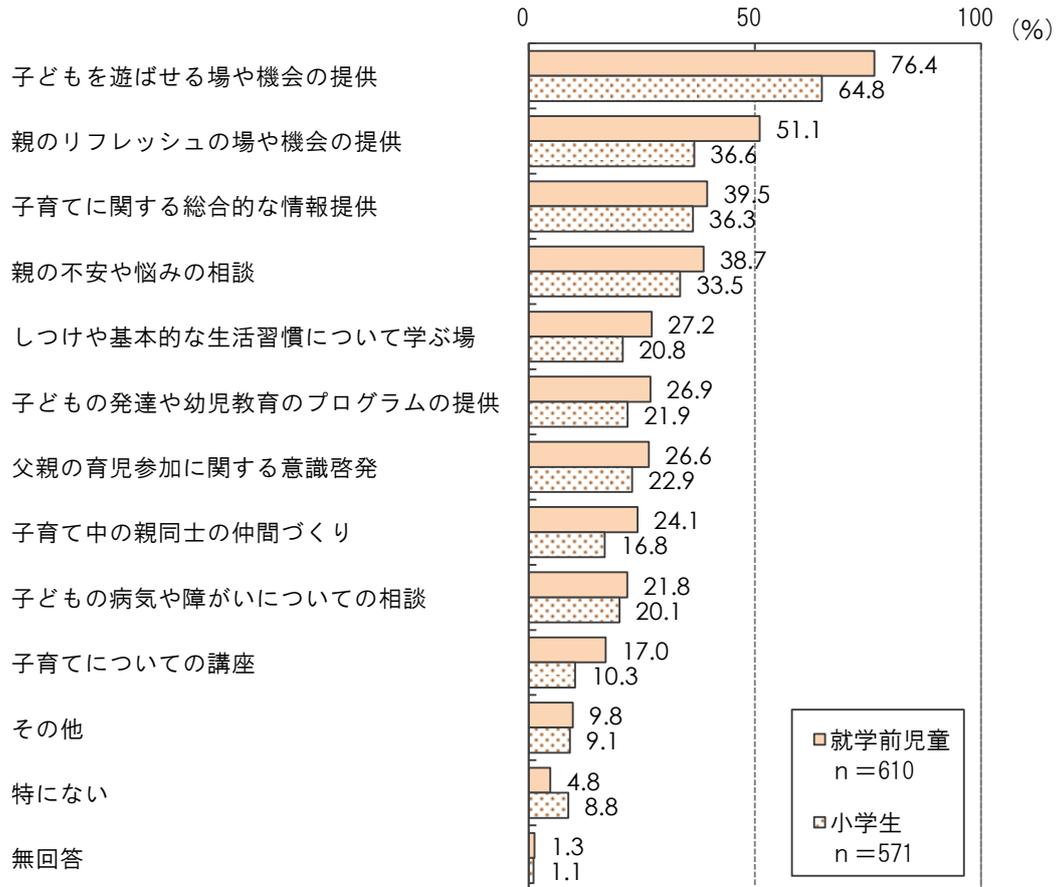
※小学生について、「保育園、こども園などに空きがない」は選択肢として設けられていなかった。

子育てしやすいまちだと思わない理由については、就学前児童において「公園など子どもの遊び場が少ない」が89.4%と最も多く、次いで「地域の子育て支援の事業が充実していない」が55.3%、「交通機関が不便である」が49.3%などとなっています。小学生においては「公園など子どもの遊び場が少ない」が86.7%と最も多く、次いで「交通機関が不便である」が62.2%、「地域の子育て支援の事業が充実していない」が41.1%などとなっています。

平成30年度調査と比較すると、就学前児童において「地域の子育て支援の事業が充実していない」「自然環境が良くない」「公園など子どもの遊び場が少ない」などが5.0ポイント以上増加し、「保育園、こども園などに空きがない」が23.6ポイント減少しています。小学生においては「子育てに関する情報を得にくい」「住環境が良くない」「近所づきあいや地域活動が盛んではない」が5.0ポイント以上増加しています。

(9) 日常の子育てを楽しく、安心して行うために必要なサービス（複数回答可）

【就学前：問 39、小学生：問 27】

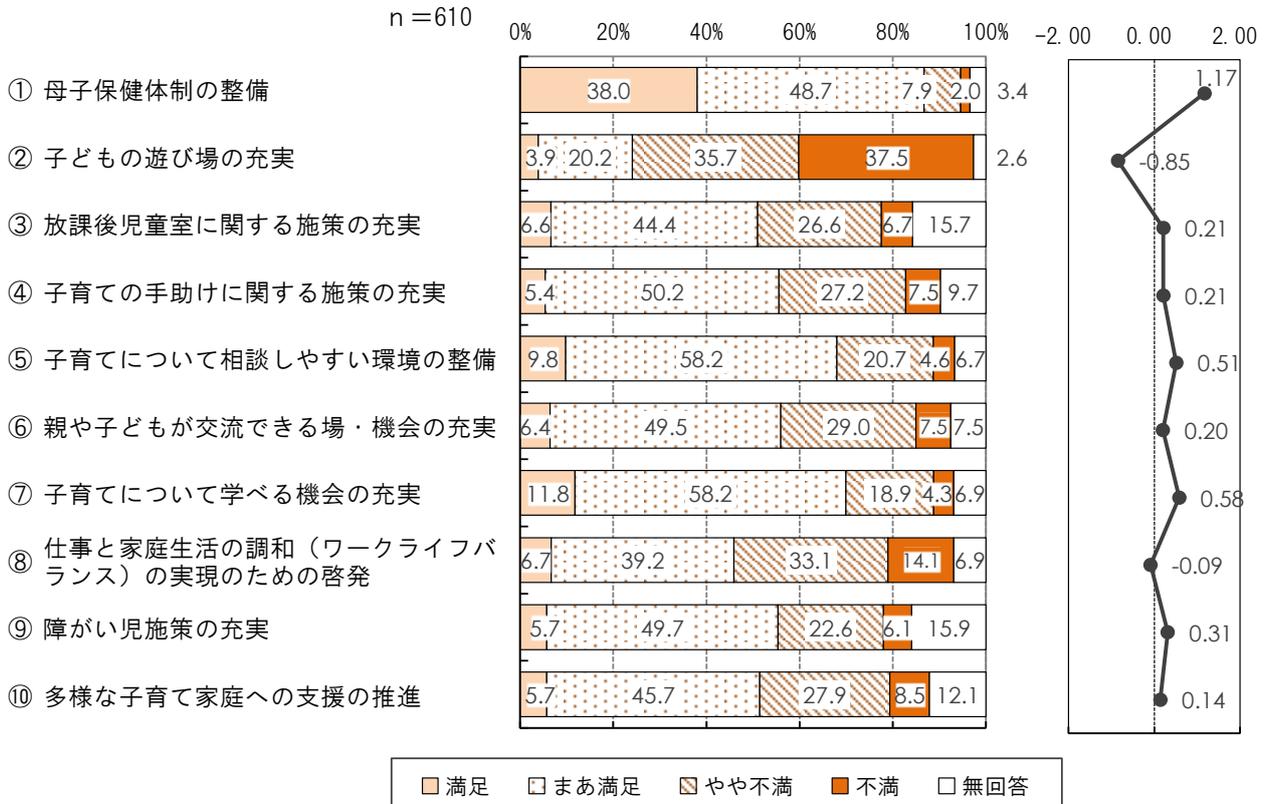


日常の子育てを楽しく、安心して行うために必要なサービスについては、就学前児童において「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が76.4%と最も多く、次いで「親のリフレッシュの場や機会の提供」が51.1%、「子育てに関する総合的な情報提供」が39.5%などとなっています。小学生においても「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が64.8%と最も多く、次いで「親のリフレッシュの場や機会の提供」が36.6%、「子育てに関する総合的な情報提供」が36.3%などとなっています。

(10) 現在の子育て環境などを踏まえた裾野市の子育て支援施策に対する満足度・重要度

【就学前：問 40、小学生：問 28】

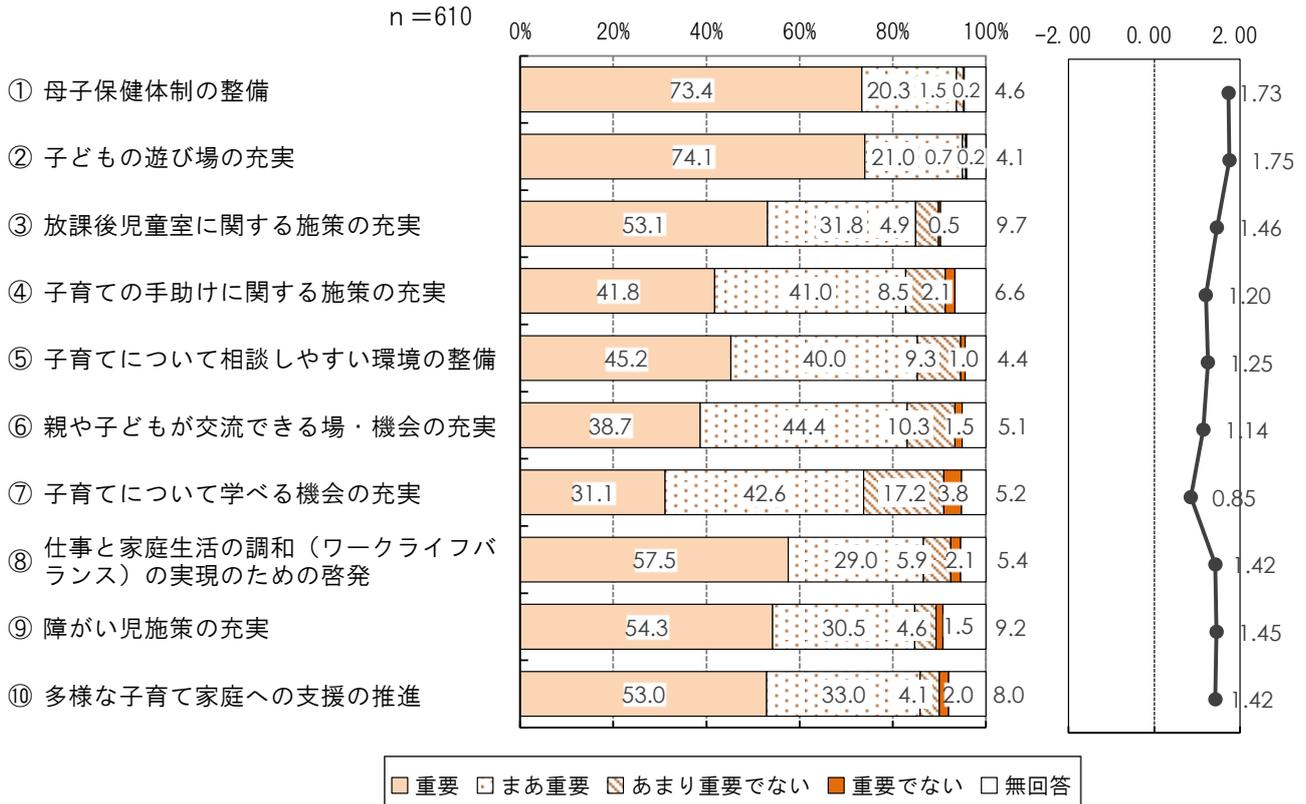
<就学前児童・満足度>



子育て支援施策に対する満足度については、満足度が最も高い項目は、就学前児童において【①母子保健体制の整備】で、『満足』（「満足」＋「まあ満足」）が86.7%、評価点が1.17点となっています。次に満足度が高いのは【⑦子育てについて学べる機会の充実】が70.0%（0.58点）、【⑤子育てについて相談しやすい環境の整備】が68.0%（0.51点）の順となっています。

一方、満足度が最も低い項目は【②子どもの遊び場の充実】で、『不満』（「不満」＋「やや不満」）が73.3%、評価点が-0.85点となっています。次に満足度が低いのは【⑧仕事と家庭生活の調和（ワークライフバランス）の実現のための啓発】が47.2%（-0.09点）、【⑩多様な子育て家庭への支援の推進】が36.4%（0.14点）の順となっています。

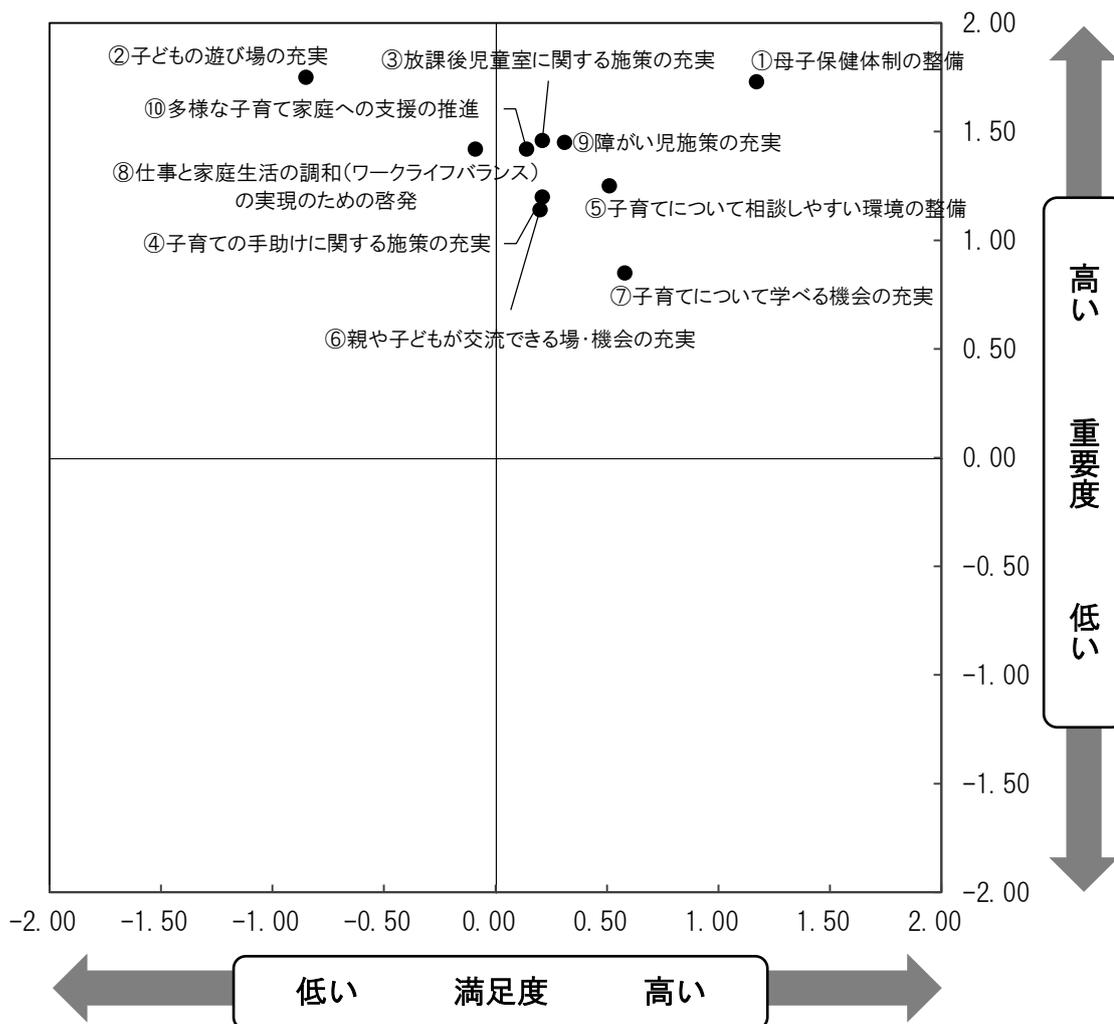
<就学前児童・重要度>



子育て支援施策に対する重要度については、重要度が最も高い項目は、就学前児童において【②子どもの遊び場の充実】で、『重要』（「重要」＋「まあ重要」）が95.1%、評価点が1.75点となっています。次に重要度が高いのは【①母子保健体制の整備】が93.8%（1.73点）、【③放課後児童室に関する施策の充実】が84.9%（1.46点）の順となっています。

一方、重要度が最も低い項目は【⑦子育てについて学べる機会の充実】で、『重要でない』（「重要でない」＋「あまり重要でない」）が21.0%、評価点が0.85点となっています。次に重要度が低いのは【⑥親や子どもが交流できる場・機会の充実】が11.8%（1.14点）、【④子育ての手助けに関する施策の充実】が10.7%（1.20点）の順となっています。

<就学前児童・評価点による散布図>

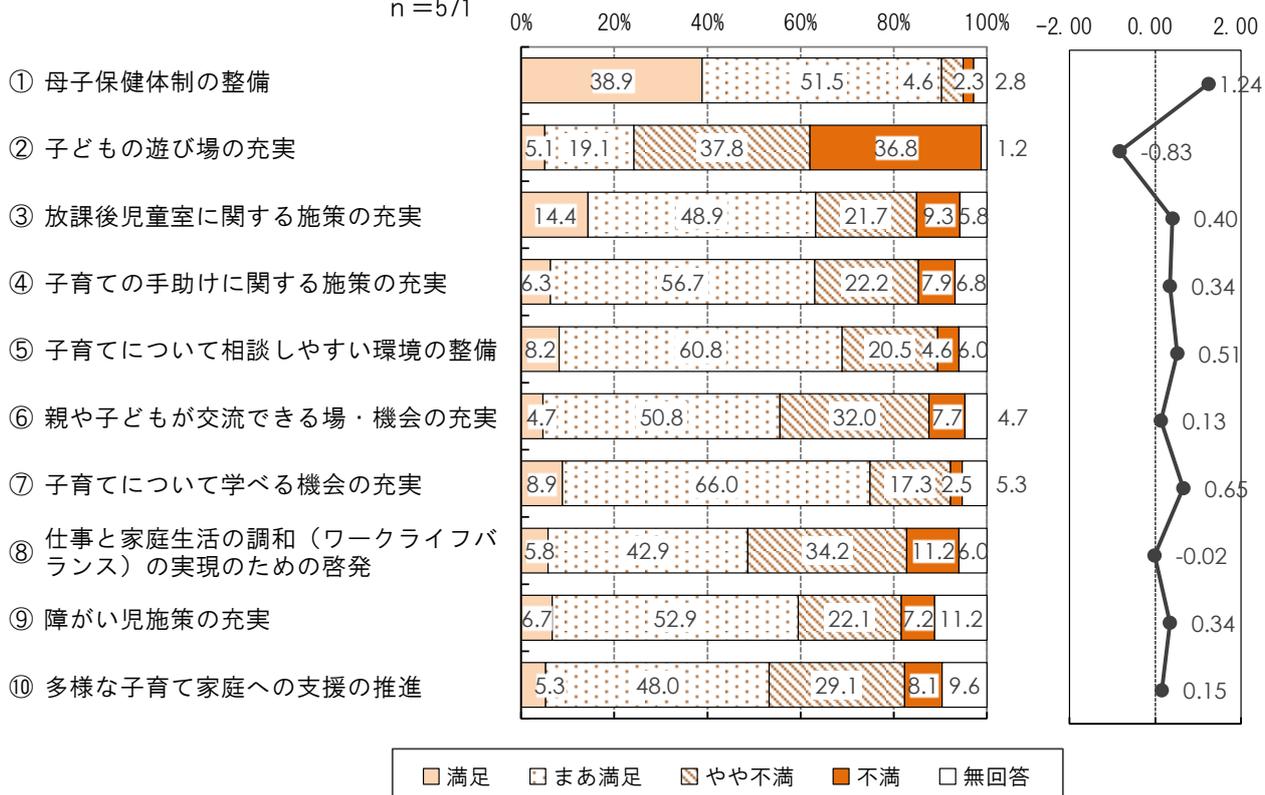


項目	満足度	重要度
①母子保健体制の整備	1.17	1.73
②子どもの遊び場の充実	-0.85	1.75
③放課後児童室に関する施策の充実	0.21	1.46
④子育ての手助けに関する施策の充実	0.21	1.20
⑤子育てについて相談しやすい環境の整備	0.51	1.25
⑥親や子どもが交流できる場・機会の充実	0.20	1.14
⑦子育てについて学べる機会の充実	0.58	0.85
⑧仕事と家庭生活の調和(ワークライフバランス)の実現のための啓発	-0.09	1.42
⑨障がい児施策の充実	0.31	1.45
⑩多様な子育て家庭への支援の推進	0.14	1.42

散布図でみると、すべての項目において重要度が高くなっています。そのうち、【①母子保健体制の整備】は満足度が最も高くなっています。一方、【②子どもの遊び場の充実】は、重要度は高いものの、満足度は最も低くなっています。

<小学生・満足度>

n=571

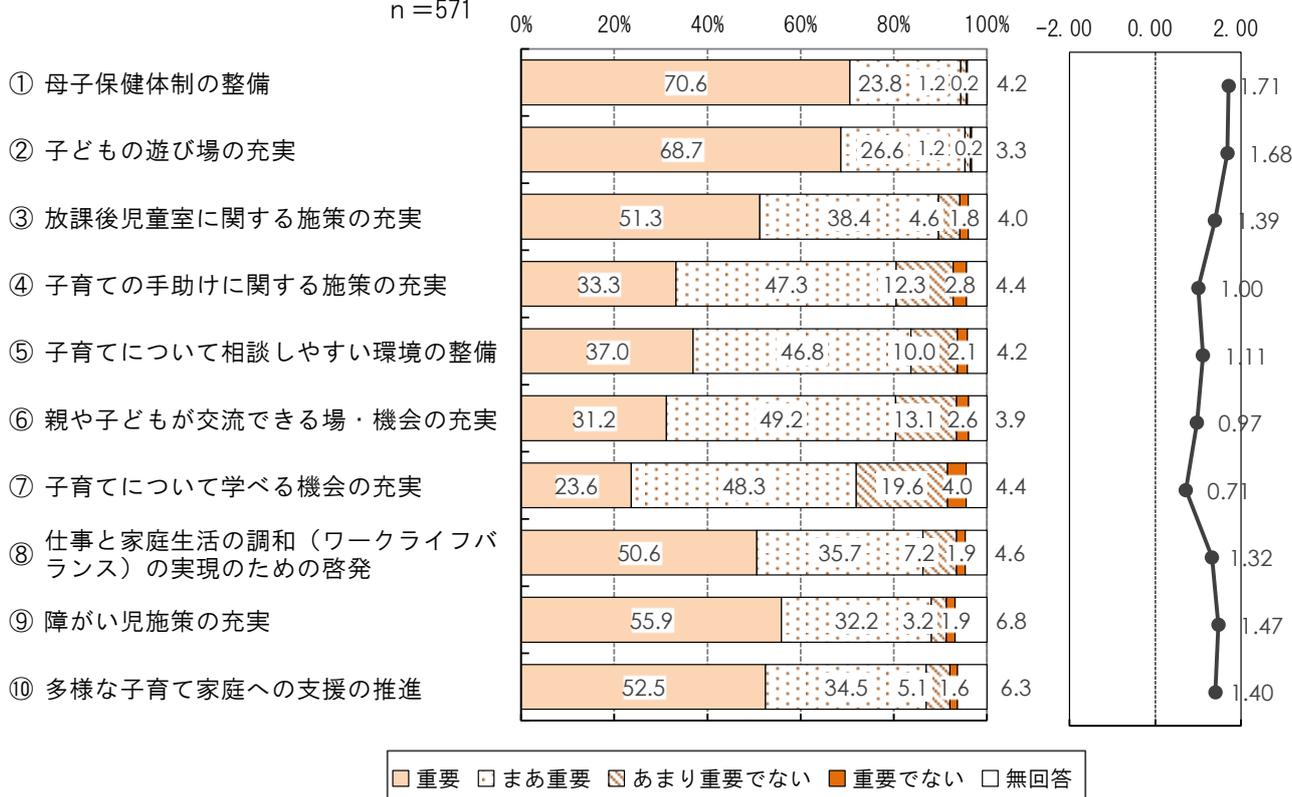


子育て支援施策に対する満足度については、満足度が最も高い項目は、小学生において【①母子保健体制の整備】で、『満足』（「満足」＋「まあ満足」）が90.4%、評価点が1.24点となっています。次に満足度が高いのは【⑦子育てについて学べる機会の充実】が75.0%（0.65点）、【⑤子育てについて相談しやすい環境の整備】が69.0%（0.51点）の順となっています。

一方、満足度が最も低い項目は【②子どもの遊び場の充実】で、『不満』（「不満」＋「やや不満」）が74.6%、評価点が-0.83点となっています。次に満足度が低いのは【⑧仕事と家庭生活の調和（ワークライフバランス）の実現のための啓発】が45.4%（-0.02点）、【⑥親や子どもが交流できる場・機会の充実】が39.8%（0.13点）の順となっています。

<小学生・重要度>

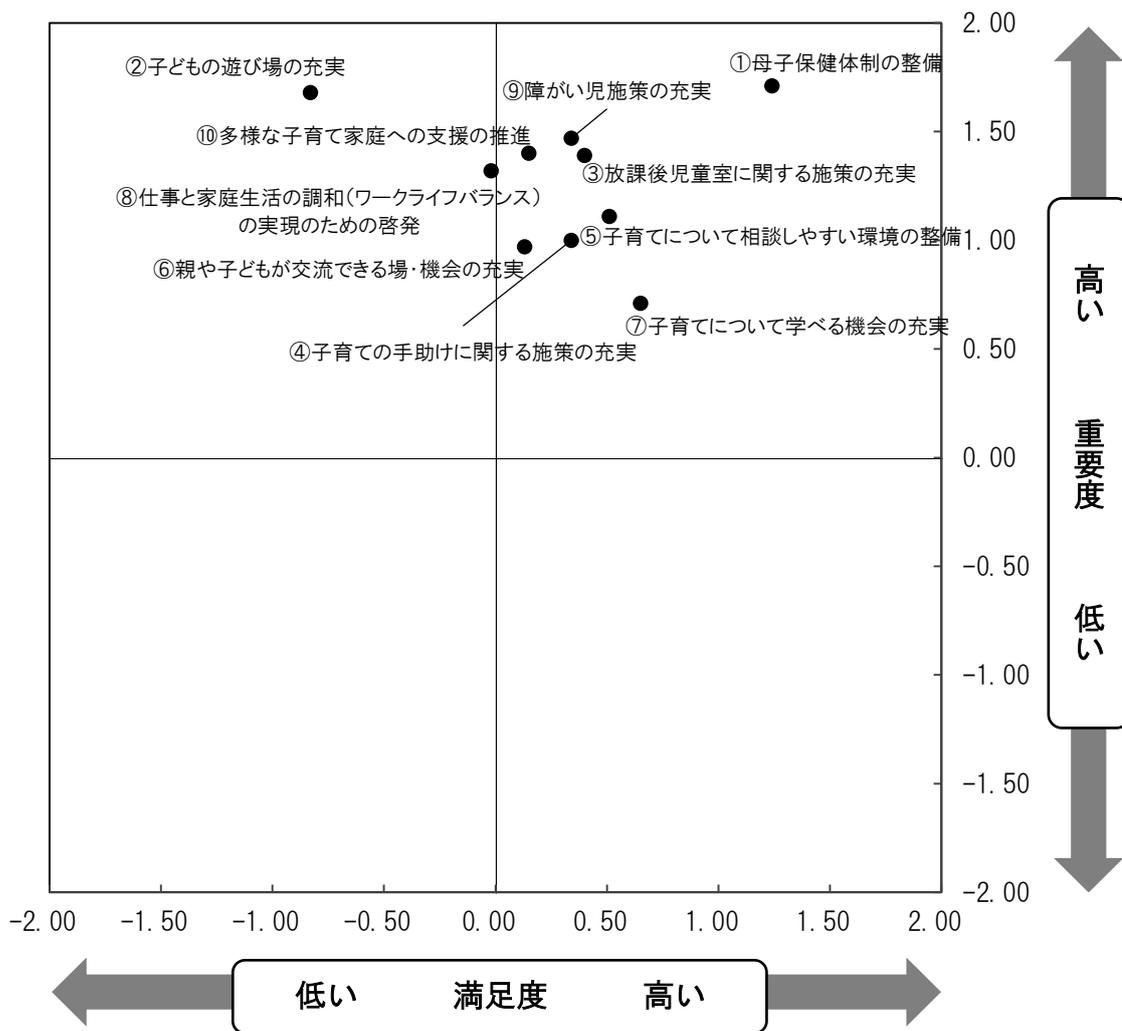
n=571



子育て支援施策に対する重要度については、重要度が最も高い項目は、小学生において【①母子保健体制の整備】で、『重要』（「重要」＋「まあ重要」）が94.4%、評価点が1.71点となっています。次に重要度が高いのは【②子どもの遊び場の充実】が95.3%（1.68点）、【⑨障がい児施策の充実】が88.1%（1.47点）の順となっています。

一方、重要度が最も低い項目は【⑦子育てについて学べる機会の充実】で、『重要でない』（「重要でない」＋「あまり重要でない」）が23.6%、評価点が0.71点となっています。次に重要度が低いのは【⑥親や子どもが交流できる場・機会の充実】が15.8%（0.97点）、【④子育ての手助けに関する施策の充実】が15.1%（1.00点）の順となっています。

<小学生・評価点による散布図>



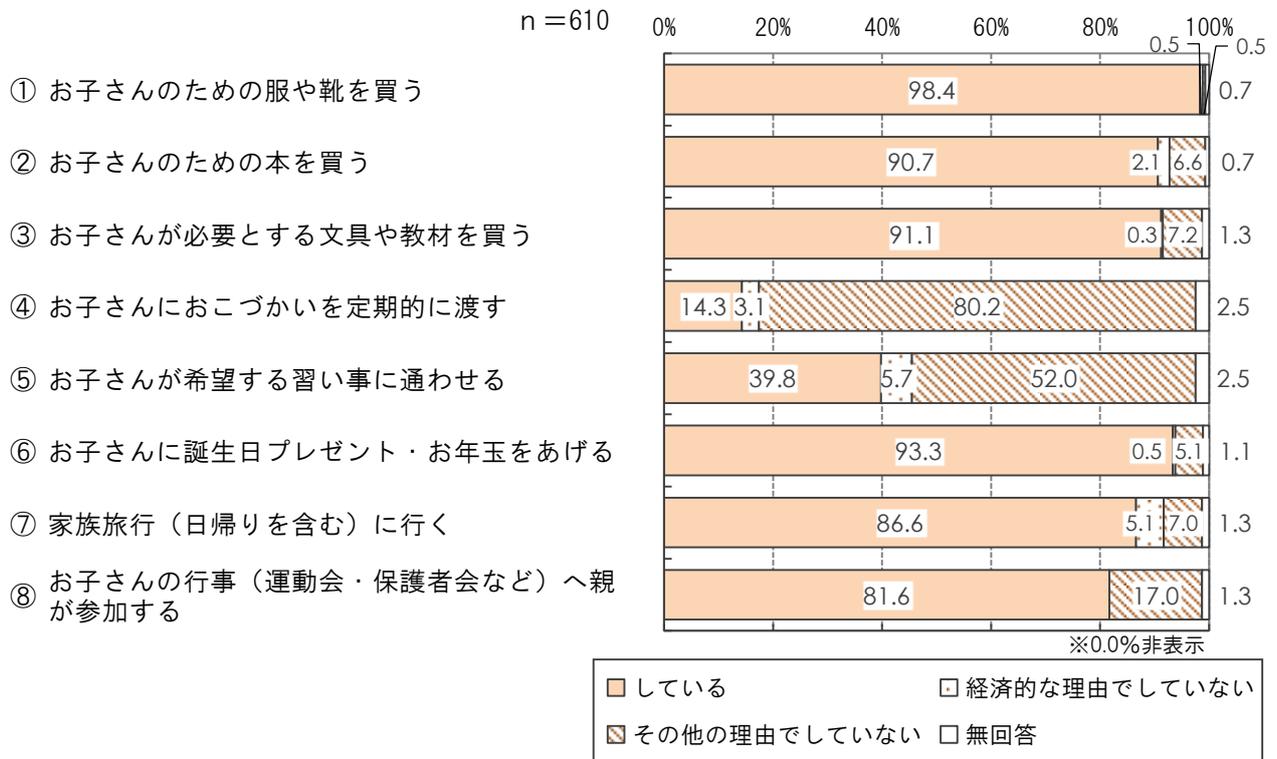
項目	満足度	重要度
①母子保健体制の整備	1.17	1.73
②子どもの遊び場の充実	-0.85	1.75
③放課後児童室に関する施策の充実	0.21	1.46
④子育ての手助けに関する施策の充実	0.21	1.20
⑤子育てについて相談しやすい環境の整備	0.51	1.25
⑥親や子どもが交流できる場・機会の充実	0.20	1.14
⑦子育てについて学べる機会の充実	0.58	0.85
⑧仕事と家庭生活の調和(ワークライフバランス)の実現のための啓発	-0.09	1.42
⑨障がい児施策の充実	0.31	1.45
⑩多様な子育て家庭への支援の推進	0.14	1.42

散布図でみると、すべての項目において重要度が高くなっています。そのうち、【①母子保健体制の整備】は満足度が最も高くなっています。一方、【②子どもの遊び場の充実】は、重要度は高いものの、満足度は最も低くなっています。

(11) 家庭において子どもに対し行っていること

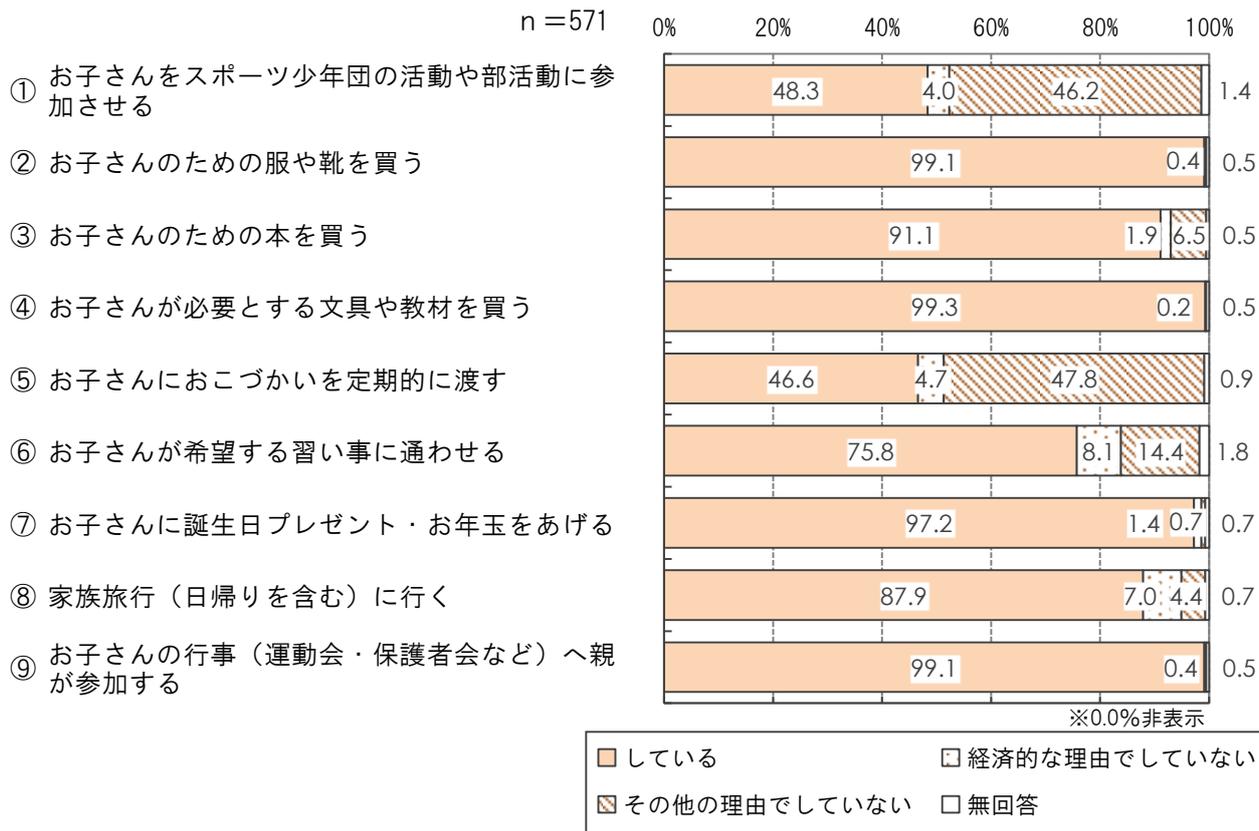
【就学前：問 41、小学生：問 29】

<就学前児童>



家庭において子どもに対し行っていることについては、就学前児童において「している」が多いものの上位3項目は、【①お子さんのための服や靴を買う】が98.4%、【⑥お子さんに誕生日プレゼント・お年玉をあげる】が93.3%、【③お子さんが必要とする文具や教材を買う】が91.1%の順となっています。一方、「経済的な理由でしていない」が多いものは、【⑤お子さんが希望する習い事に通わせる】が5.7%、【⑦家族旅行（日帰りを含む）に行く】が5.1%、【④お子さんにおこづかいを定期的に渡す】が3.1%の順となっています。

<小学生>



小学生においては「している」が多いものの上位3項目は、【④お子さんが必要とする文具や教材を買う】が99.3%、【②お子さんのための服や靴を買う】、【⑨お子さんの行事（運動会・保護者会など）へ親が参加する】が99.1%、【⑦お子さんに誕生日プレゼント・お年玉をあげる】が97.2%の順となっています。一方、「経済的な理由でしていない」が多いものは、【⑥お子さんが希望する習い事に通わせる】が8.1%、【⑧家族旅行（日帰りを含む）に行く】が7.0%、【⑤お子さんにおこづかいを定期的に渡す】が4.7%の順となっています。

1. 育児休業の取得状況について

就学前児童において、子どもの父親の育児取得状況をみると、「取得した（取得中である）」が、母親は約半数、父親は約2割と差異が大きく、母親と比較し取得率が低くなっています。また、父親においては、育児休業を取得しなかった理由として、職場の雰囲気により取りづらかった・仕事が忙しかったという項目が約3～4割と多くなっています。このことから、育児休業の取りやすい職場環境の整備が求められていることがわかります。

2. 裾野市で実施している事業の認知度について

裾野市で実施している事業の認知度をみると、就学前児童・小学生ともに、裾野市で実施している事業のうち、ファミリー・サポート・センターや家庭児童相談室の認知度が他項目と比較しやや低くなっています。どちらの事業も、就学前児童は約半数、小学生は約半数～6割にとどまっている一方、他の健康推進課が実施する相談事業や訪問事業は、認知度が約8～9割と高くなっています。また、子育てに関する支援情報の入手先として、就学前児童・小学生ともにインターネットやSNSが活用されています。このことから、事業内容や利用方法などを、インターネットを含め、さまざまな方法で周知し、子育て家庭が入手しやすくすることが必要です。

3. 理想の子ども的人数より、現実的に子育て可能な子ども的人数が少ない理由について

理想の子ども的人数より、現実的に子育て可能な子ども的人数が少ない理由をみると、就学前児童・小学生ともに「子育てにかかる費用が大変なため」が約8割となっています。他項目より比較的多くなっていることから、年代にかかわらず、子育て家庭への経済的な支援の必要性がうかがえます。

4. 子育てしやすいまちだと思ふ具体的な理由について

裾野市が子育てしやすいまちだと思ふ理由をみると、就学前児童において保育園、こども園が利用しやすいという回答が約4割となり、平成30年度調査と比較すると17.1ポイント増加しています。また、裾野市が子育てしやすいまちだと思わない理由をみると、就学前児童において保育園、こども園などに空きがないという回答が18.4%と、平成30年度調査と比較すると23.6ポイント減少しています。現行計画に基づいて施設整備等の教育・保育環境整備を進めており、それらの取組みによって、子どもを預ける環境がやや改善していることがうかがえます。

5. 子ども・子育て施策に対するニーズについて

裾野市が子育てしやすいまちだと思わない理由をみると、就学前児童・小学生ともに「公園など子どもの遊び場が少ない」が9割弱と最も多くなっています。また、日常の子育てを楽しく、安心して行うために必要なサービスについて尋ねた結果、就学前児童・小学生ともに「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が最も多くなっています。さらに、裾野市の子育て支援施策に対する満足度・重要度を尋ねた結果、「子どもの遊び場の充実」が最も満足度が低く、重要度が高いという結果になっています。以上の内容から、子ども・子育て家庭が利用できる遊び場の整備について、優先的に取り組む必要性があります。地域子育て支援センターや令和6年度に開設した「こども家庭センター」に併設されている親子交流スペースについて利用促進を図るとともに、ニーズを踏まえて新たな施設の整備を図ることが求められます。